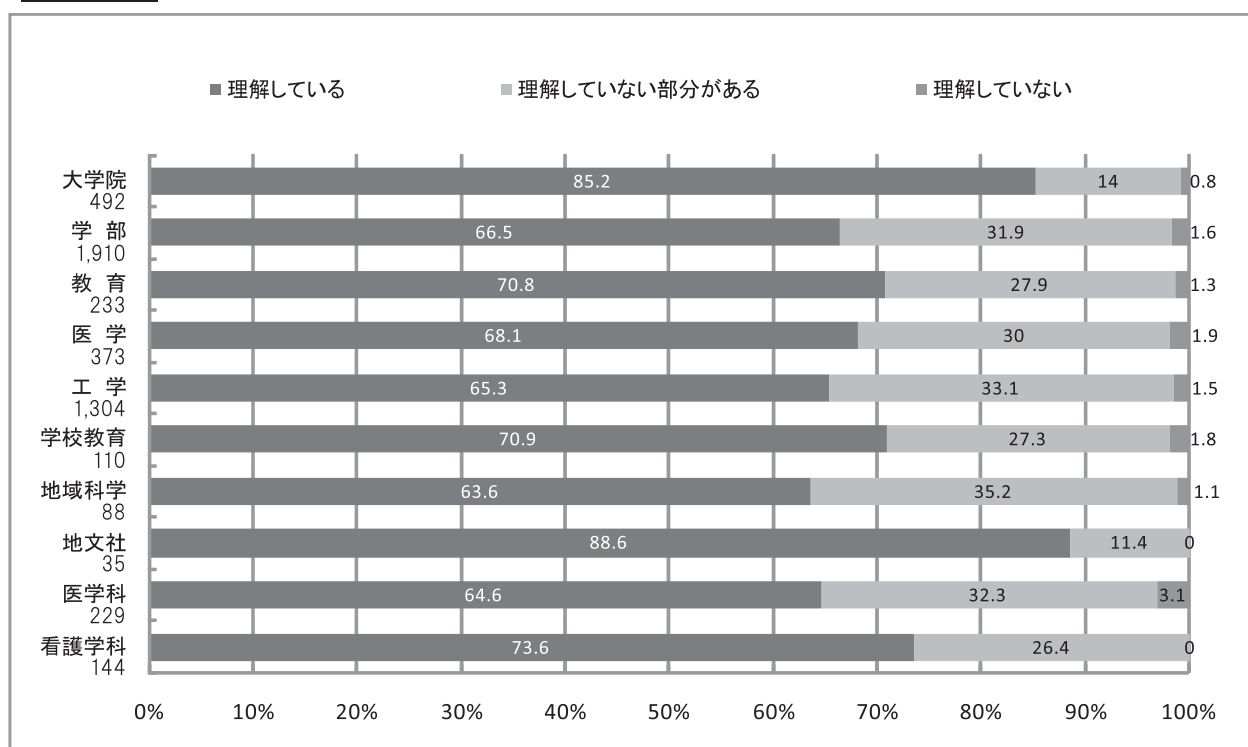


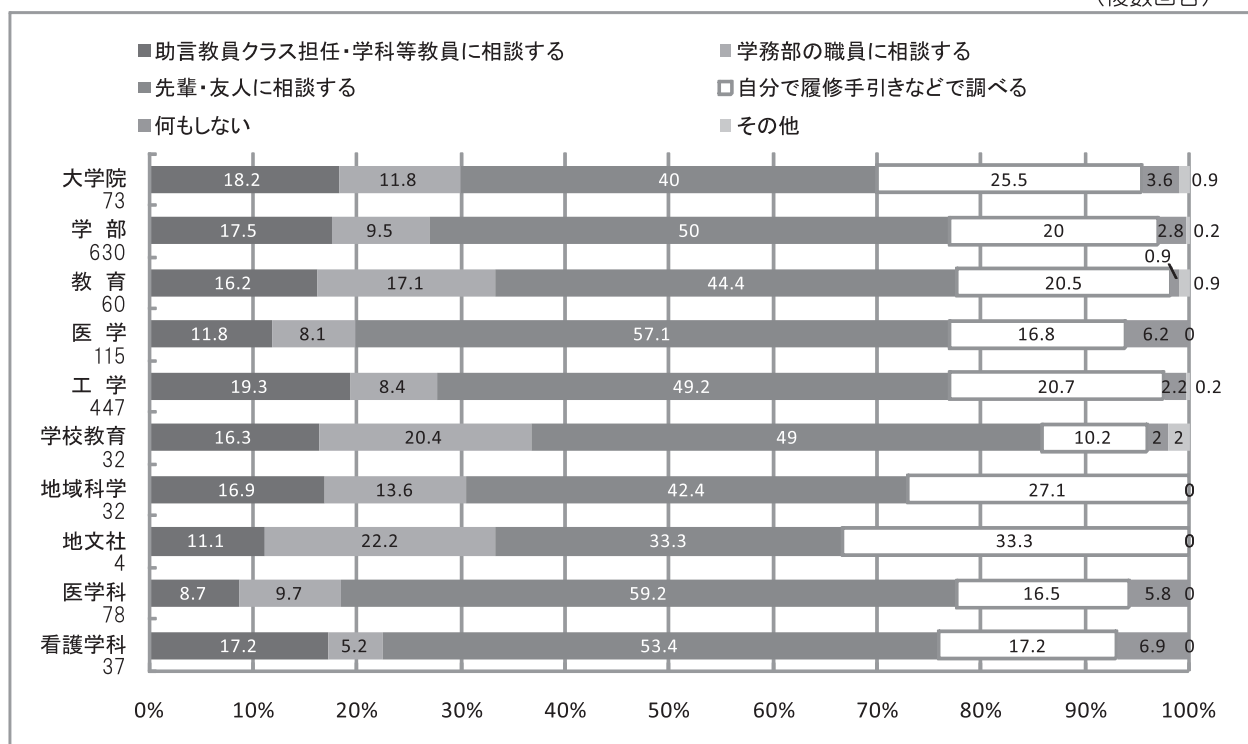
G 大学の授業について

G1-1 卒業・終了までの履修方法の理解度（現時点）



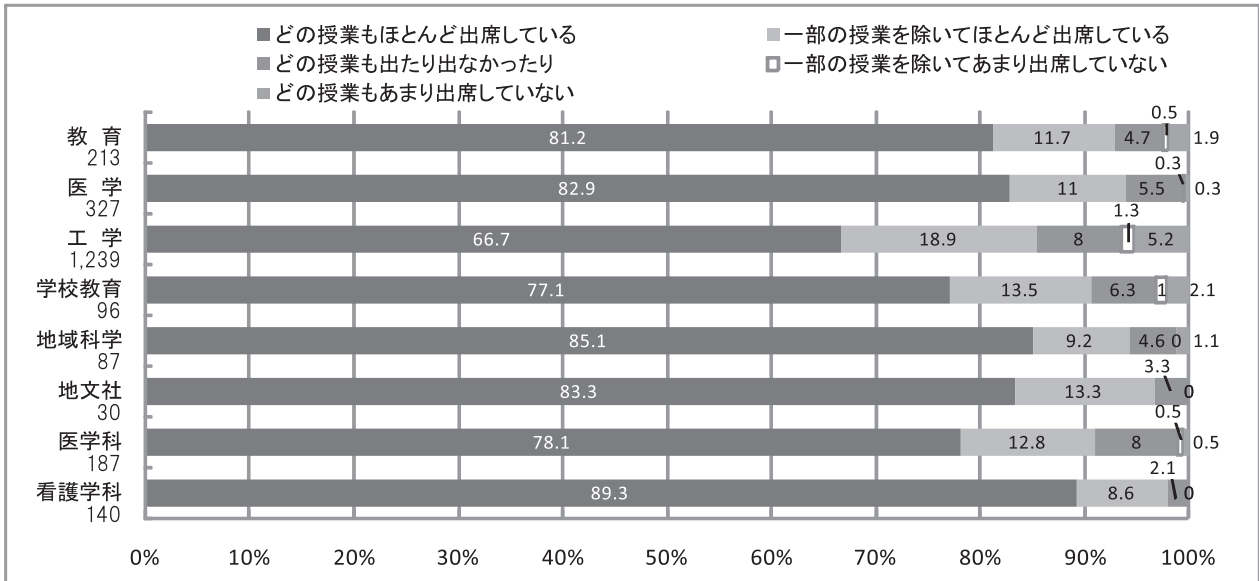
G1-2 理解できない部分の解決法

(複数回答)



G2-1 授業の出席状況（今年度）

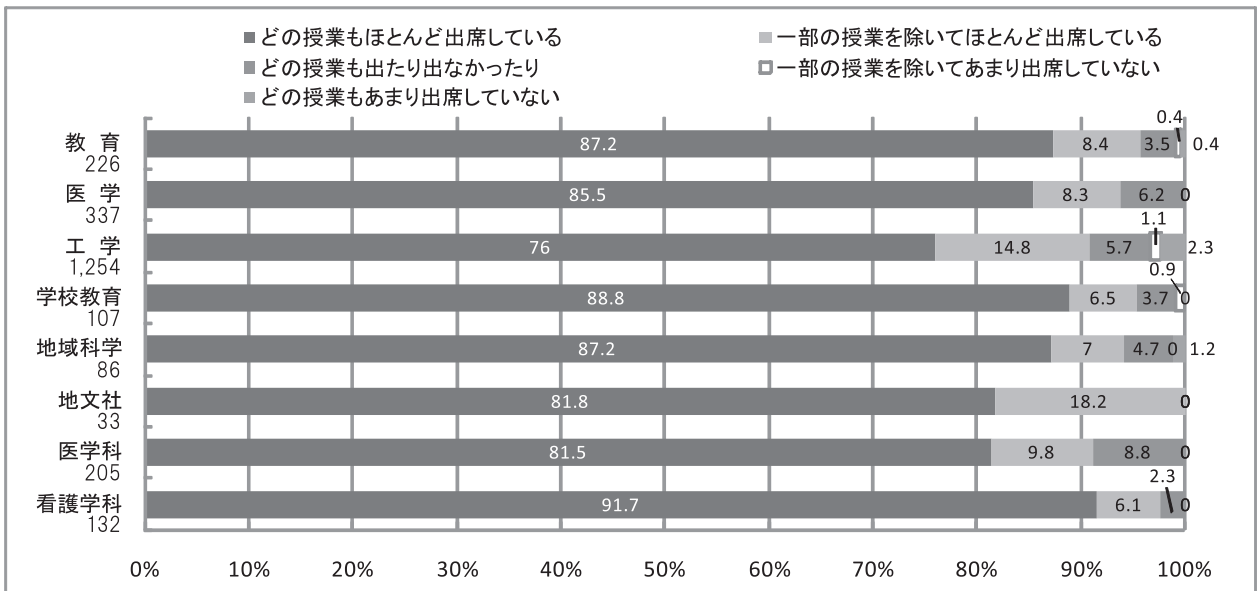
共通・教養



□現状

共通・教養で出席状況が悪いのは、選択科目を途中で放棄することが原因と考えられる。

専門



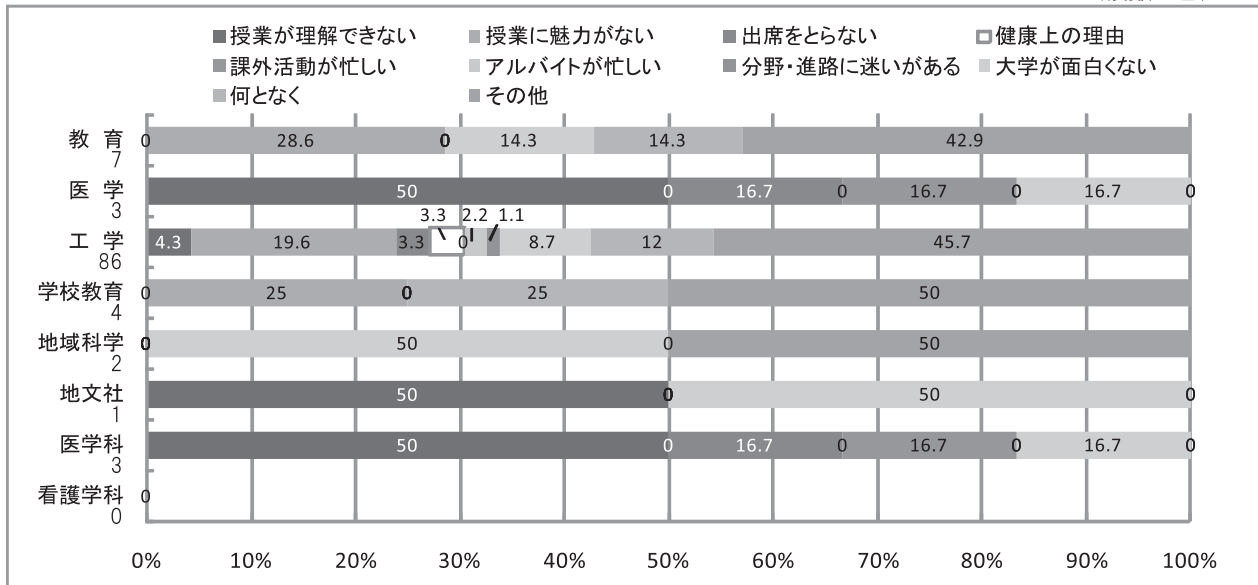
□現状

共通・教養、専門ともに、欠席がちな学生がみられるが、すでに授業を放棄したり長期欠席している学生（アンケート未回答）を含めると、相当数になると考えられる。

G2-2 出席しない理由

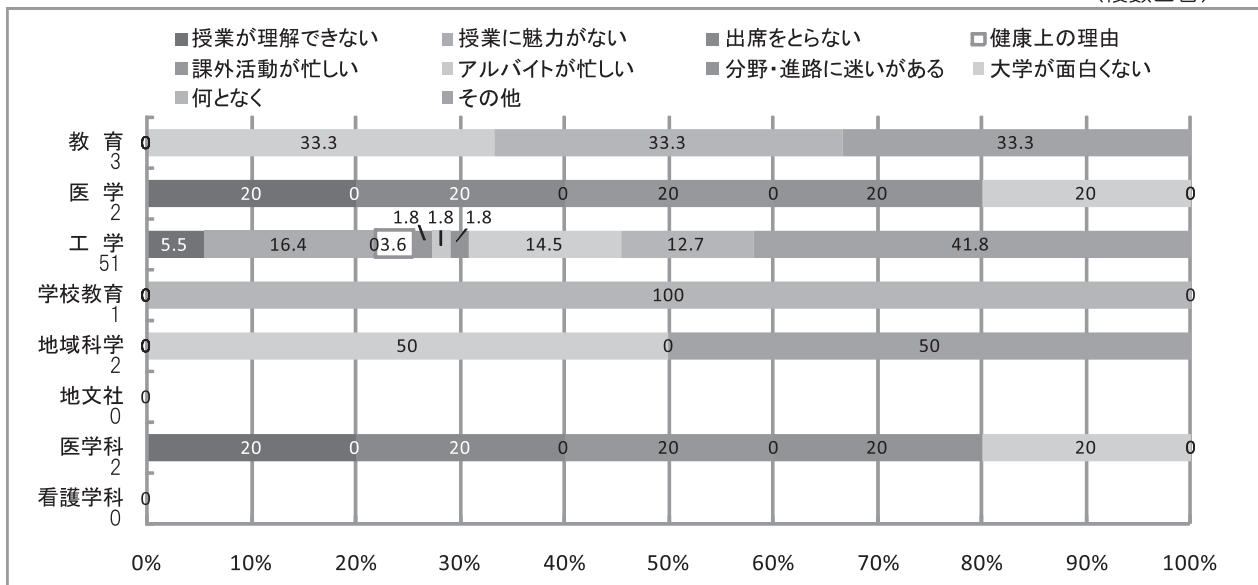
共通・教養

(複数回答)



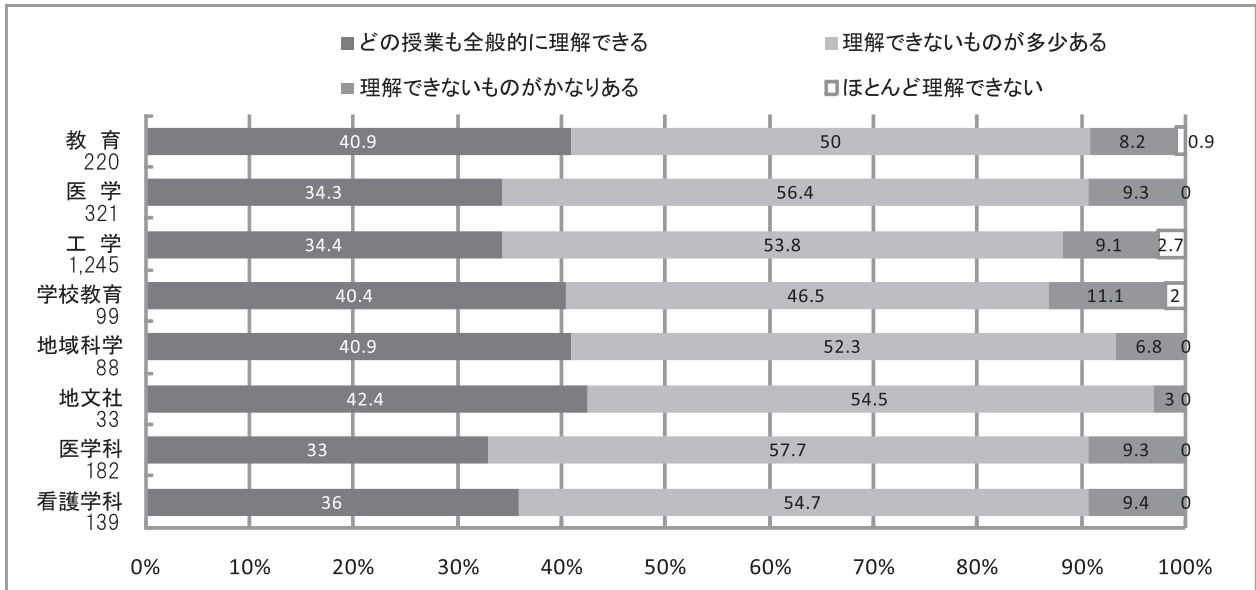
専門

(複数回答)

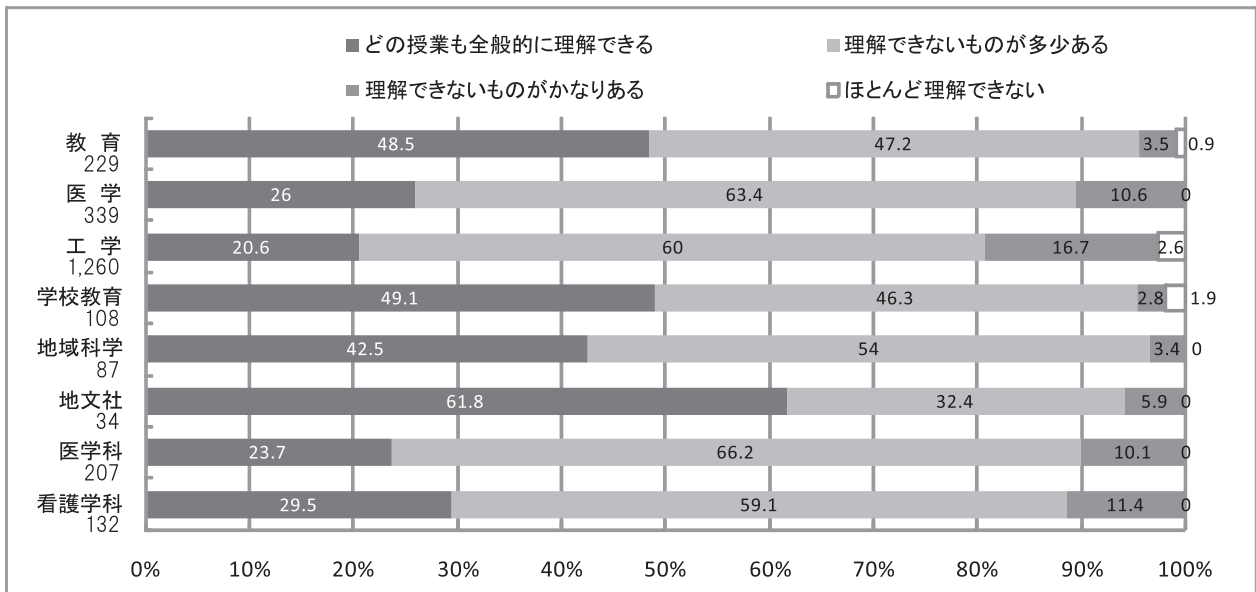


G3-1 授業の理解度

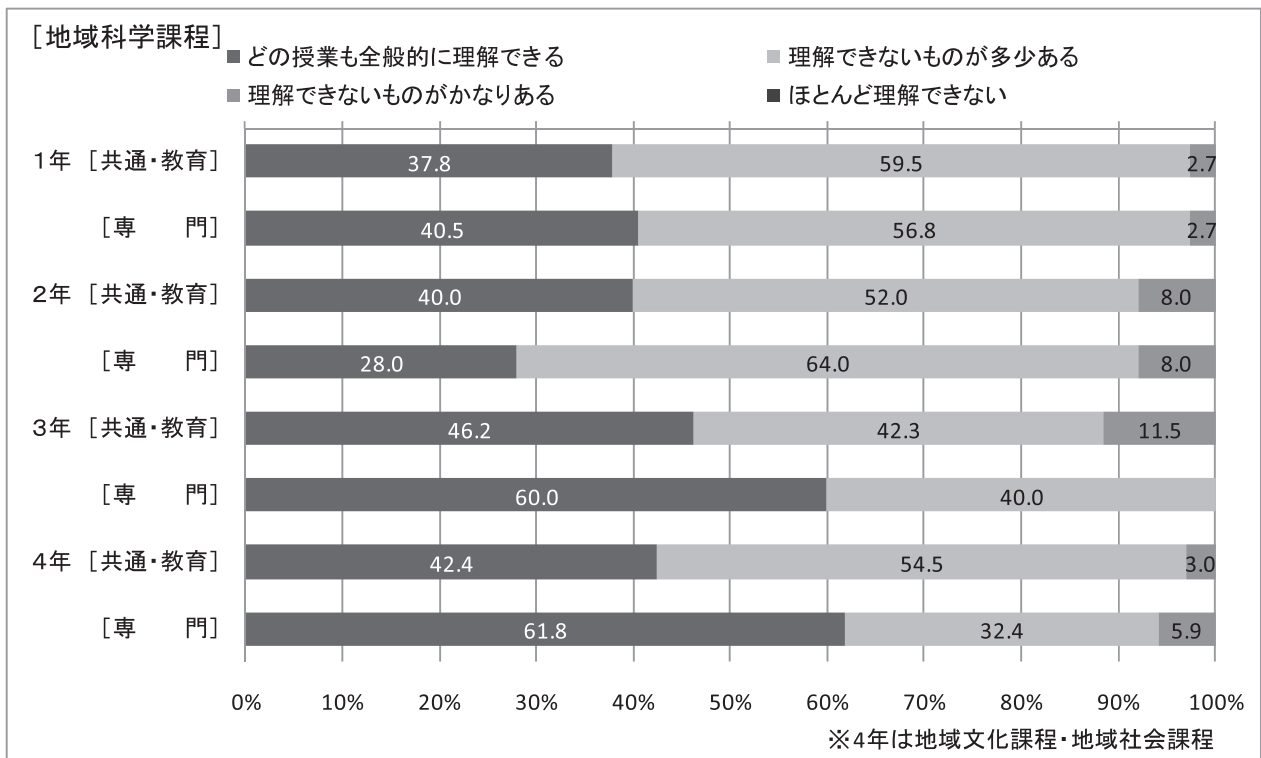
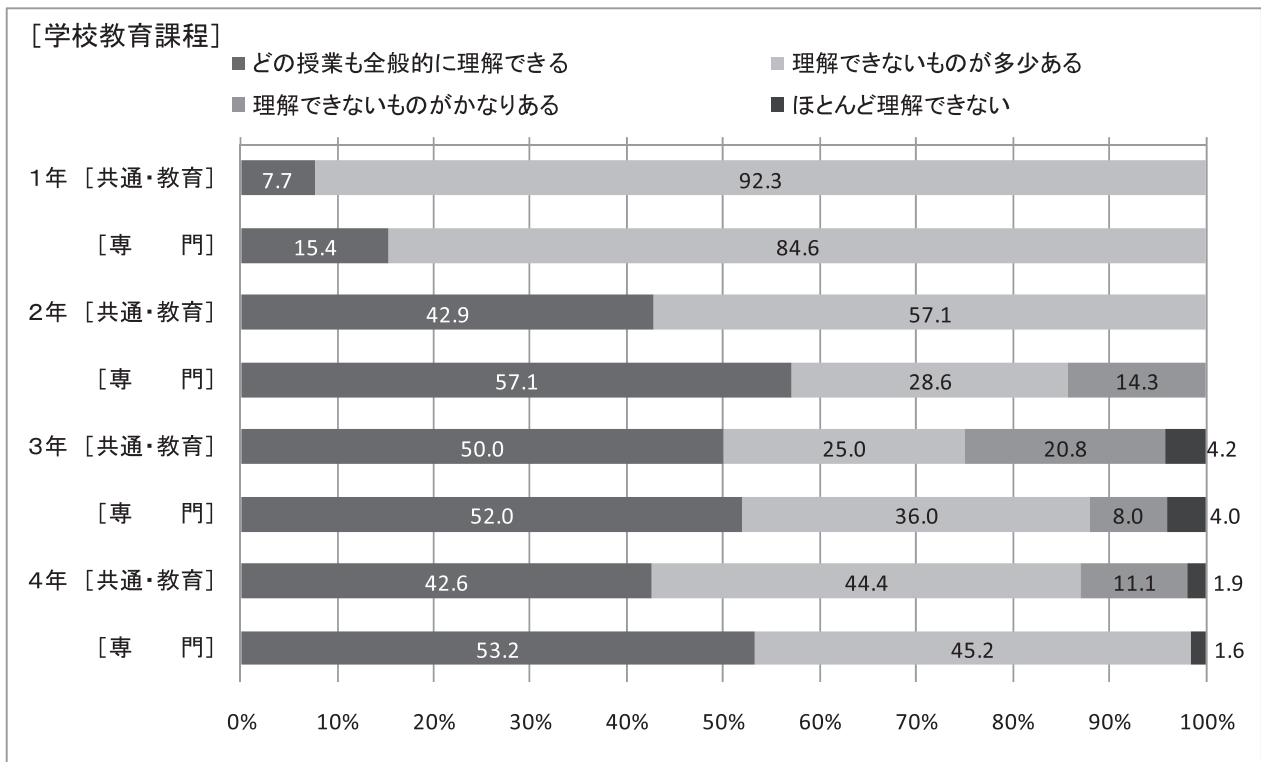
共通・教養

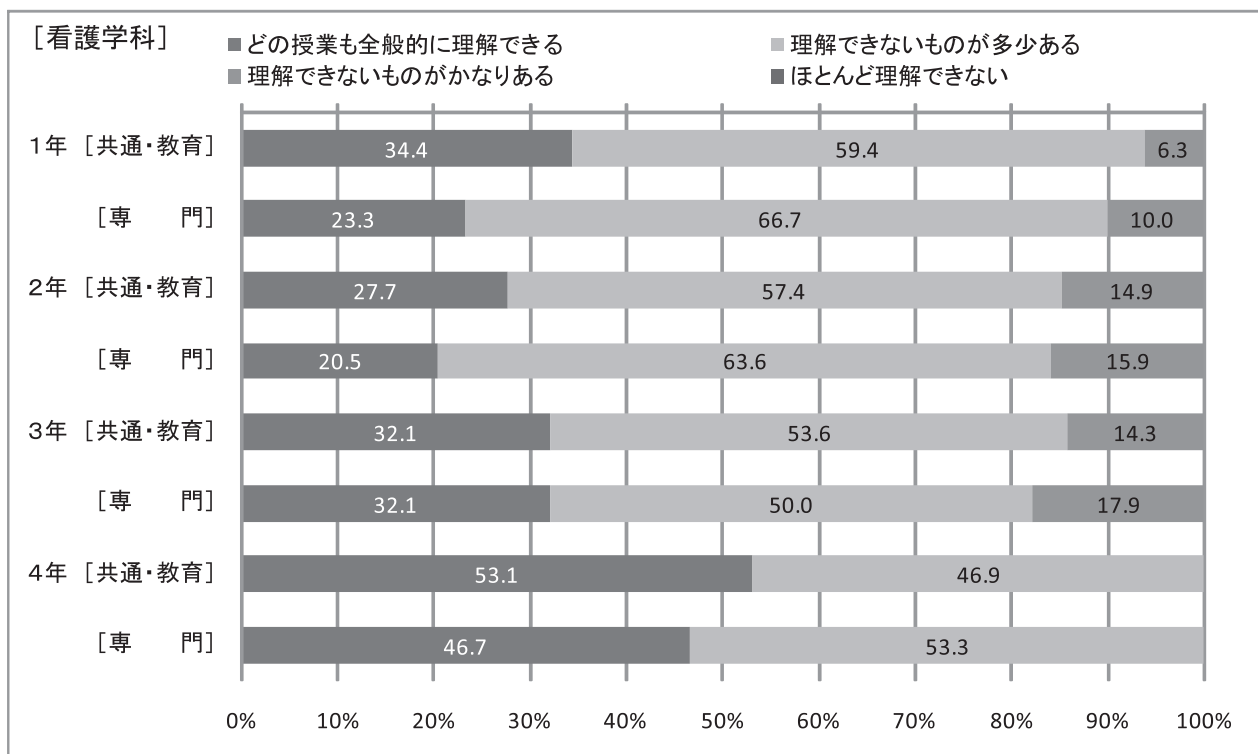
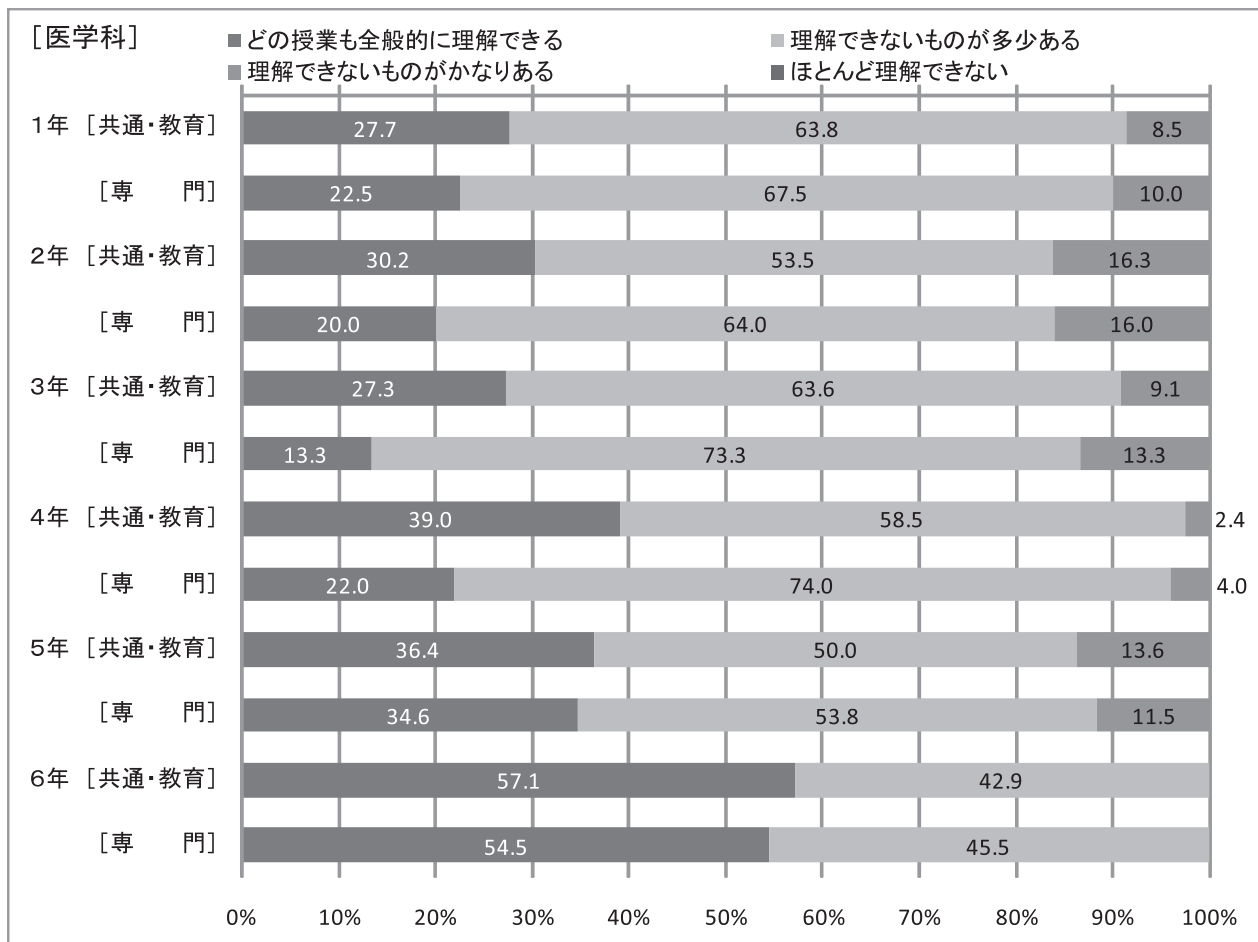


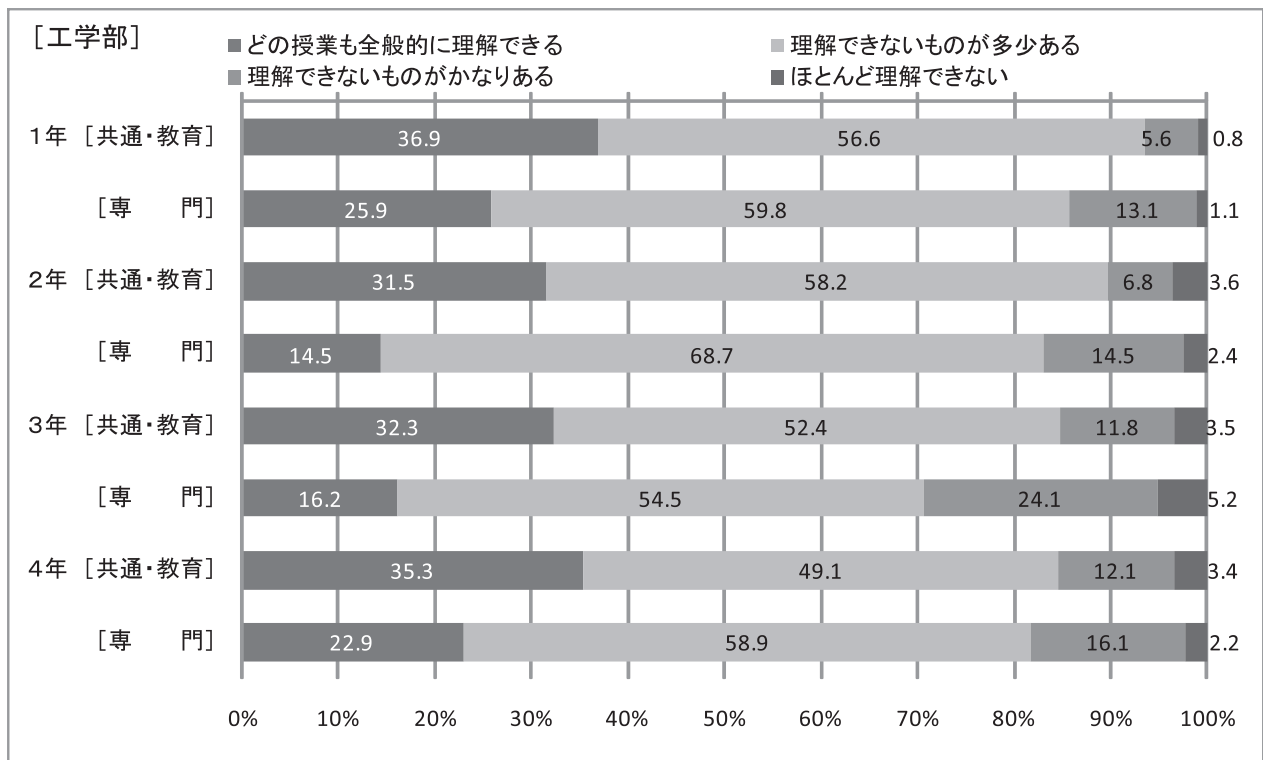
専門



G3-1 授業の理解度（学年別）



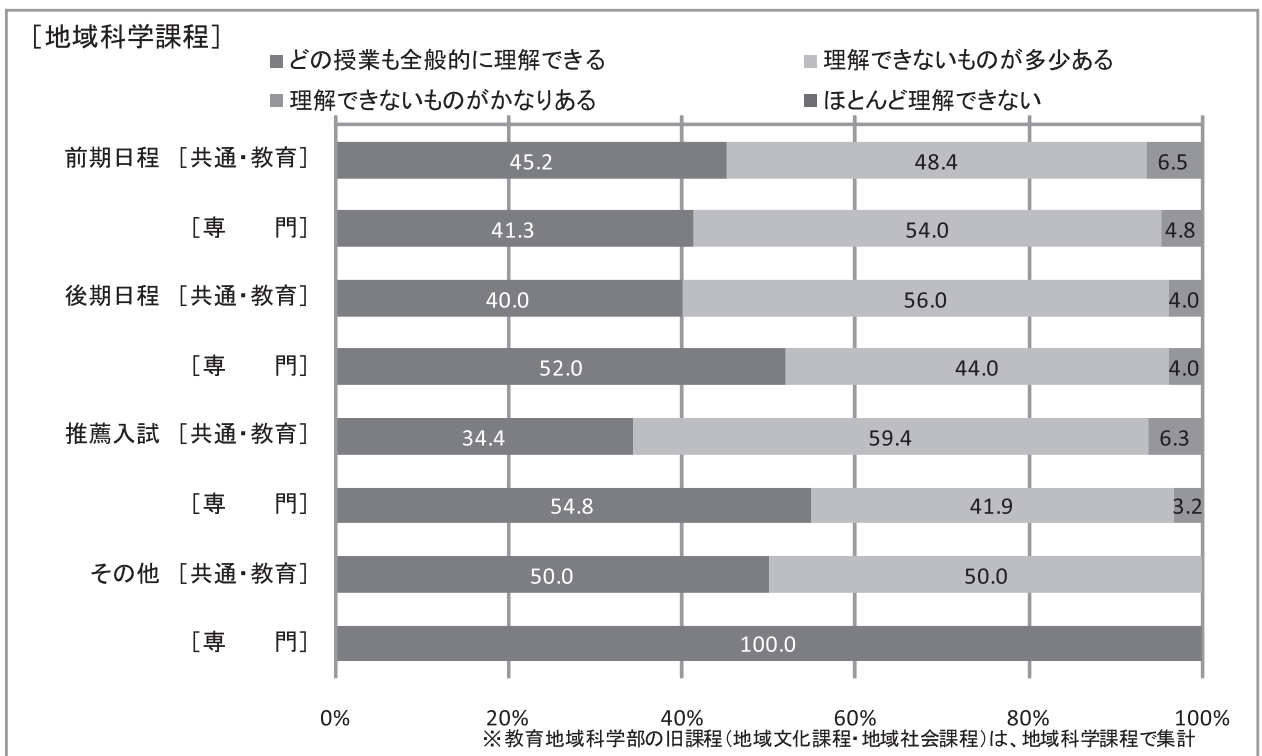
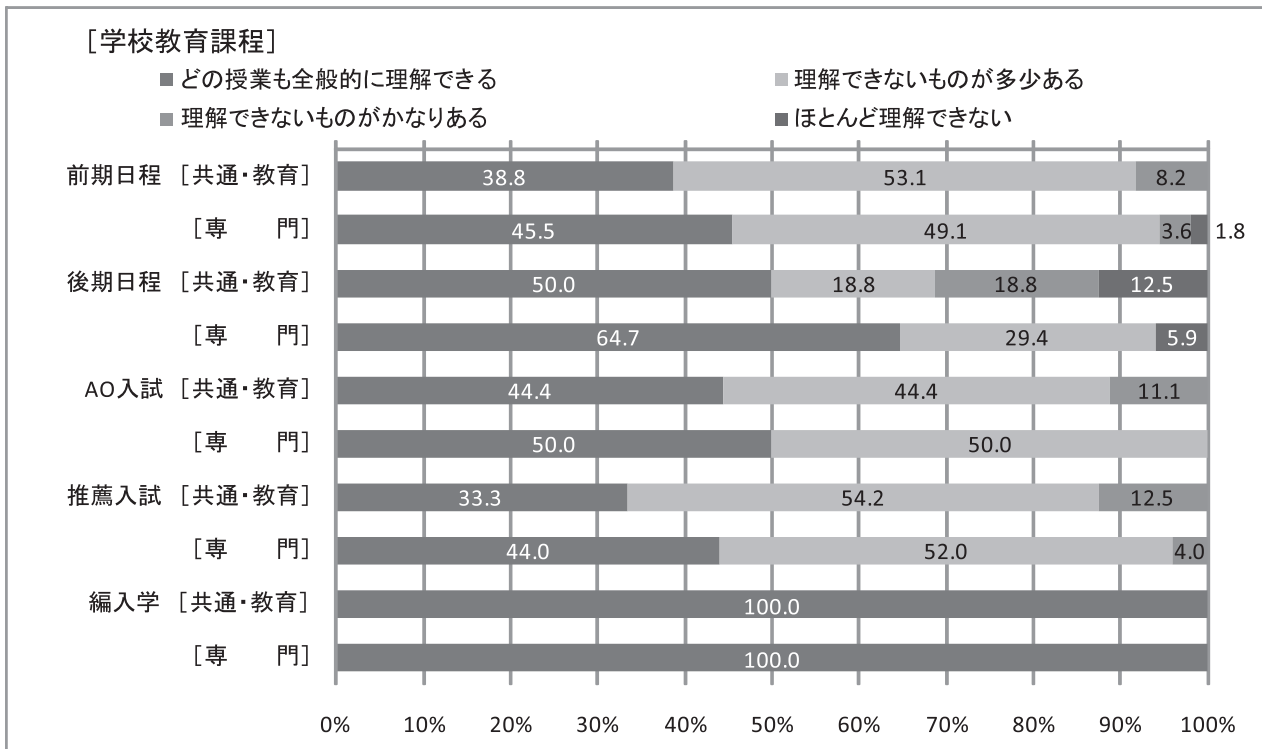




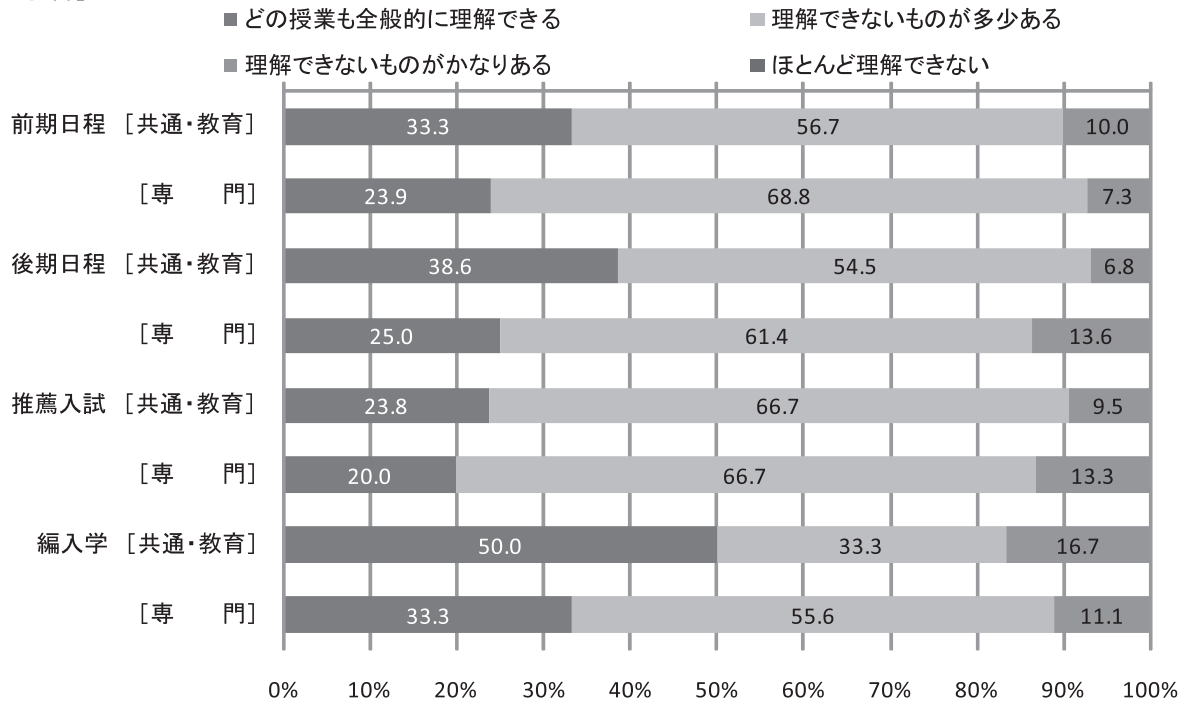
□現状

「ほとんど理解できない」が少なからずいることは問題である。すでに授業を放棄、欠席している学生（アンケート未回答）を含めると、相当数となることが考えられる。

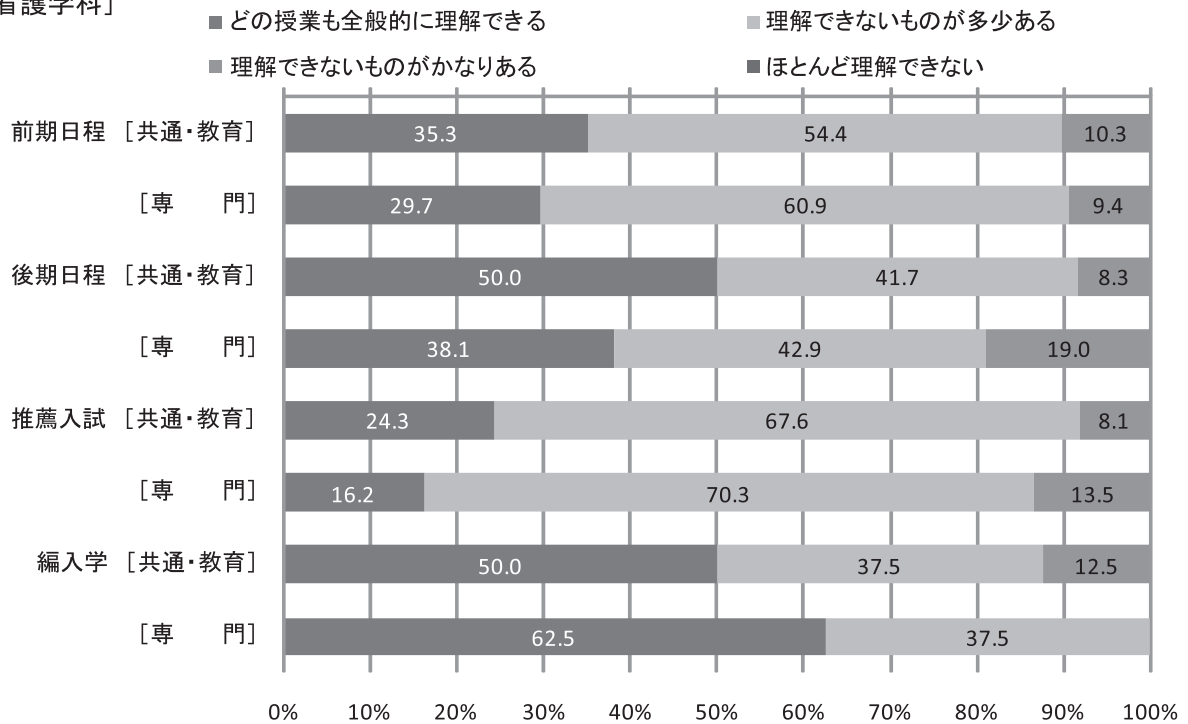
G3-1 授業の理解度（入学時の試験と理解度）

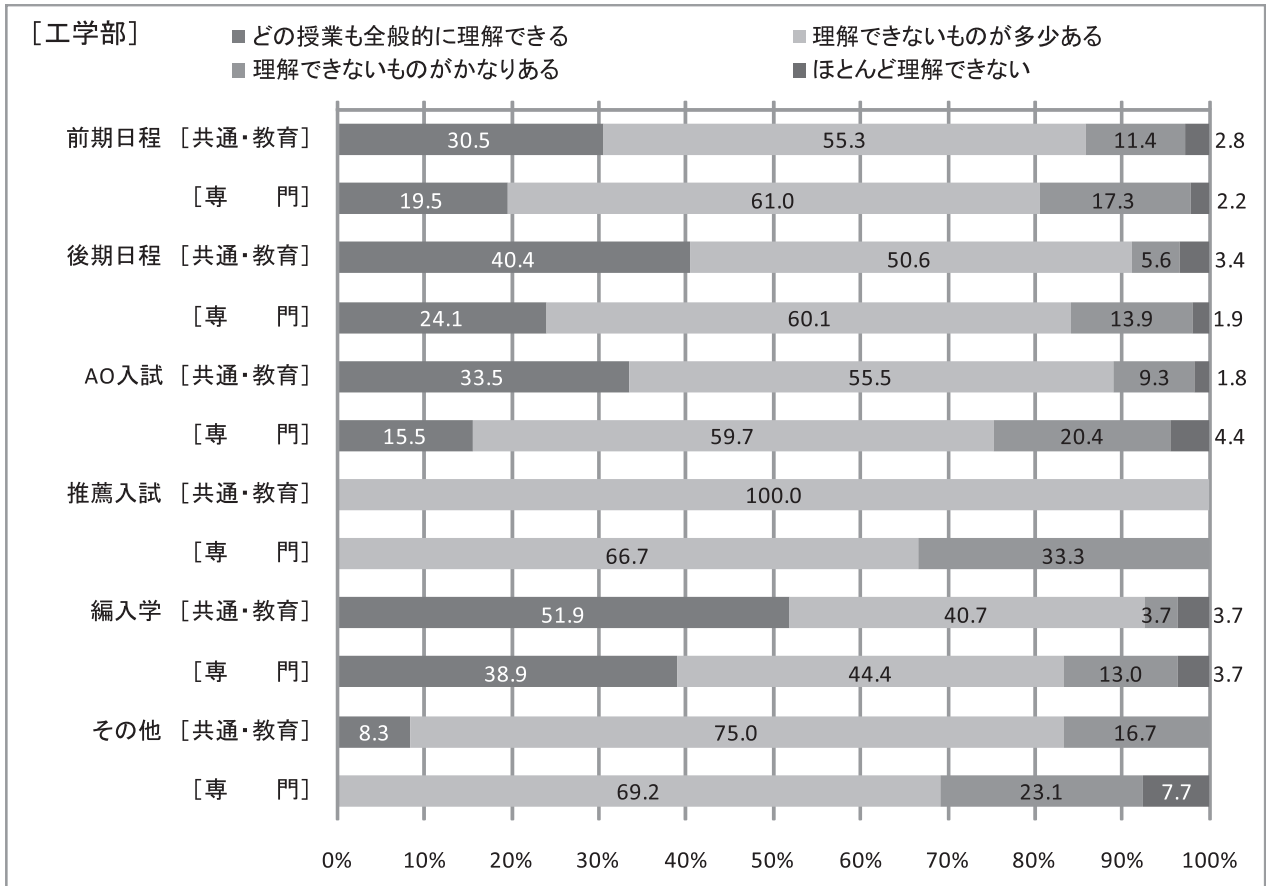


[医学科]



[看護学科]

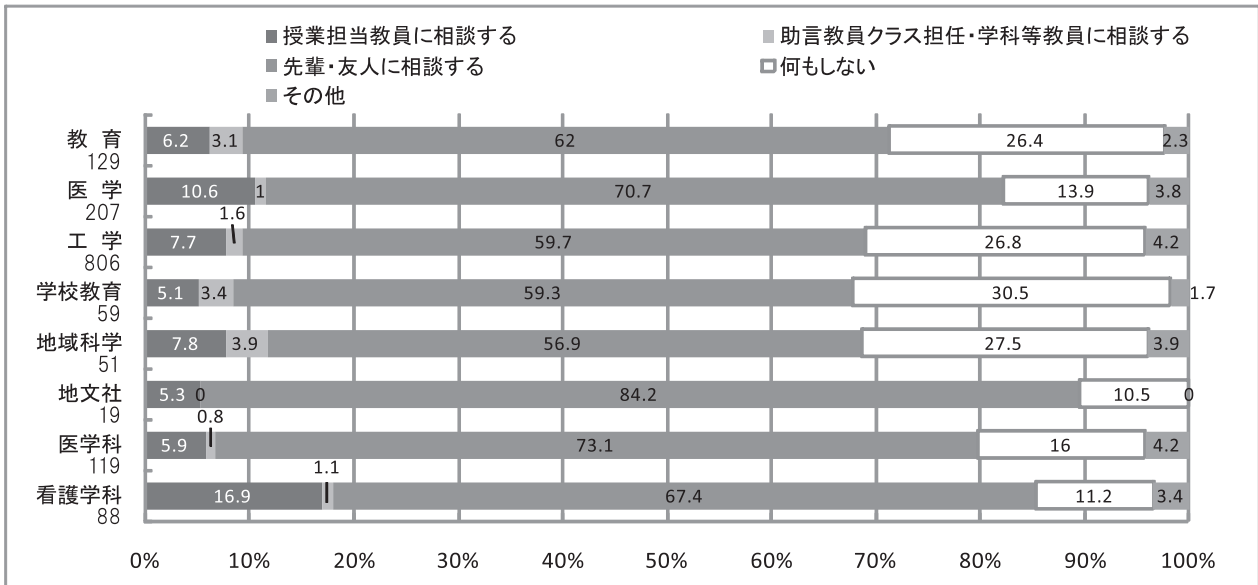




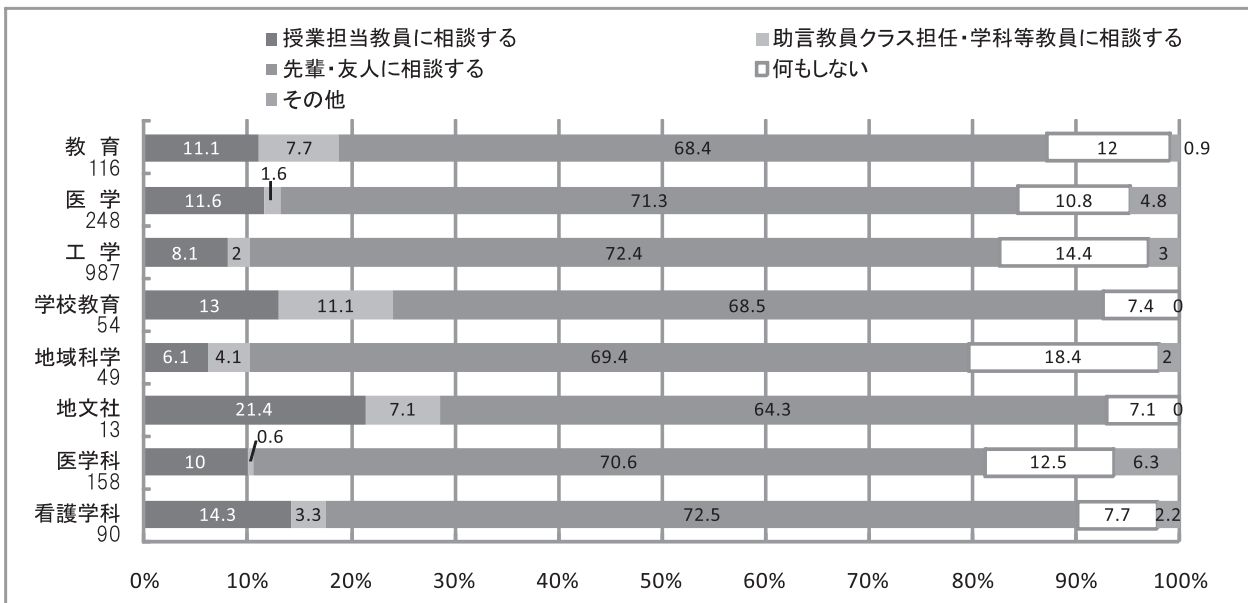
G3-2 理解できない時の対応

共通・教養

(複数回答)



専門

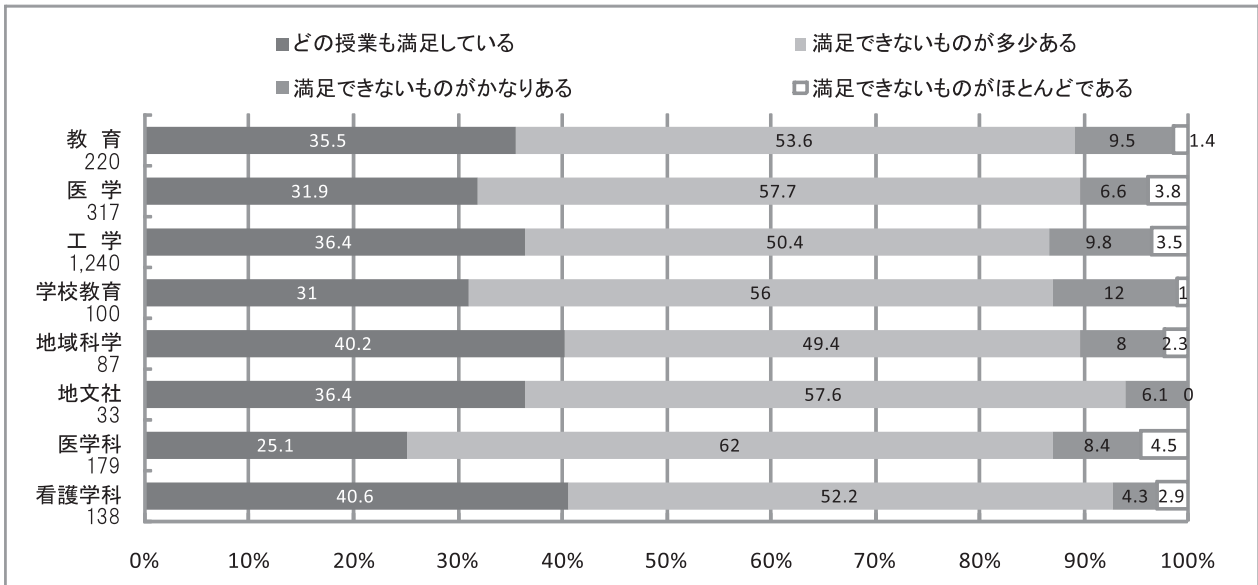


□現状

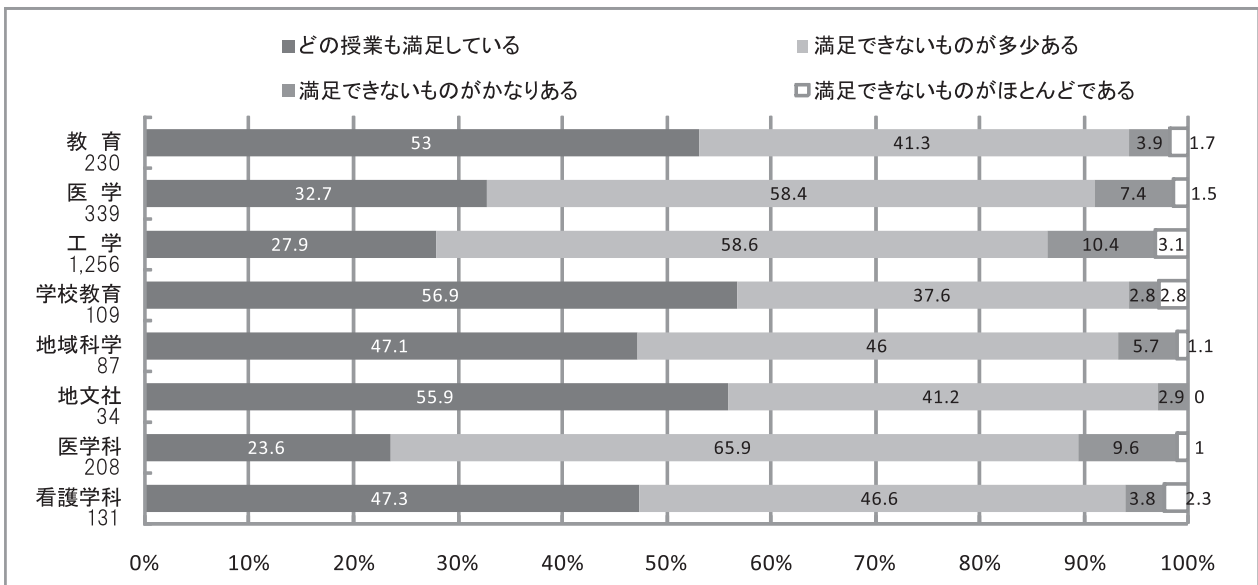
「先輩・友人に相談する」が圧倒的に多い。学生の中に、TAやアドバイザーを置くことも有効と考えられる。

G4-1 授業の満足度

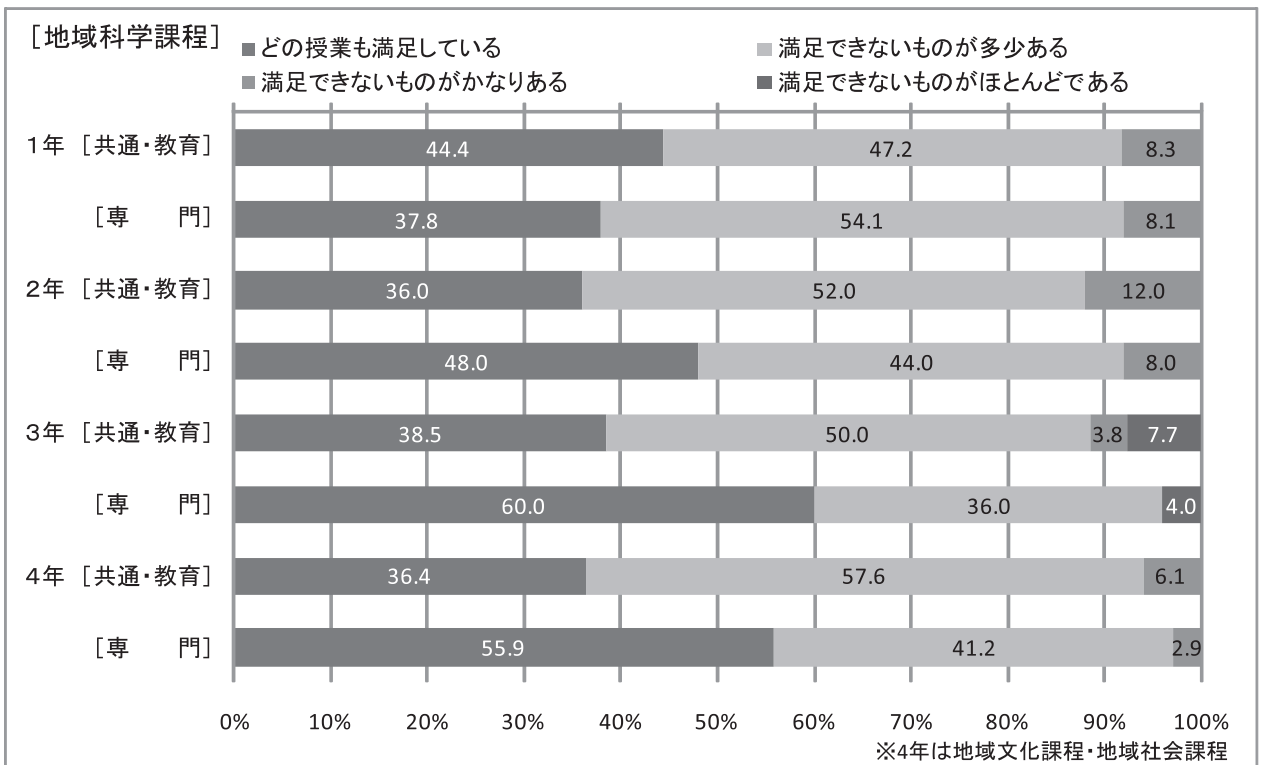
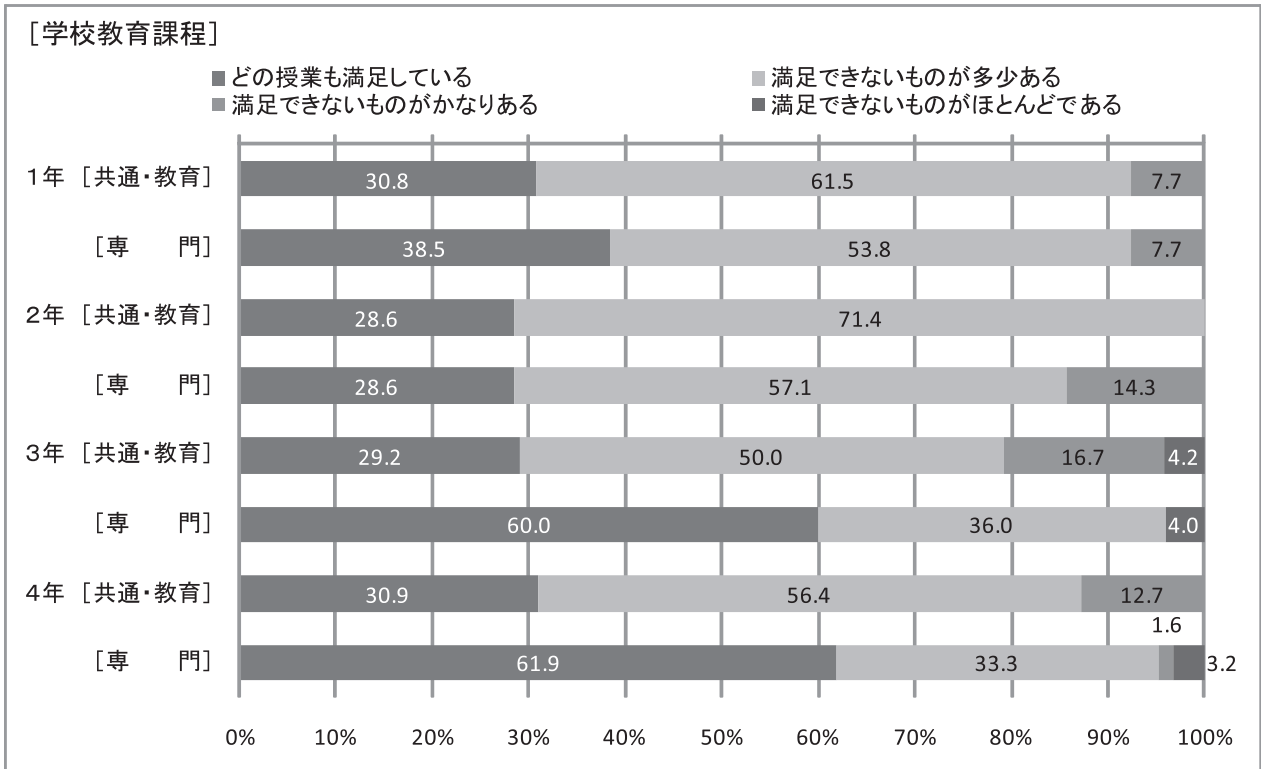
共通・教養

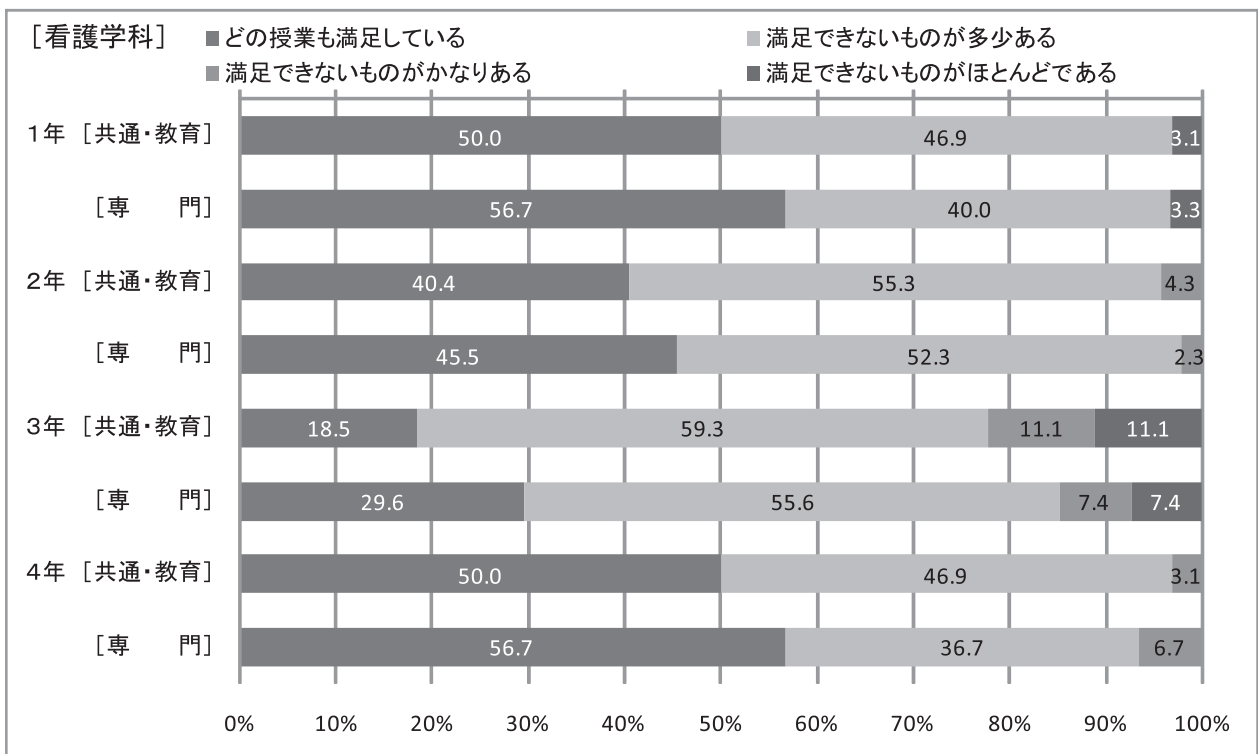
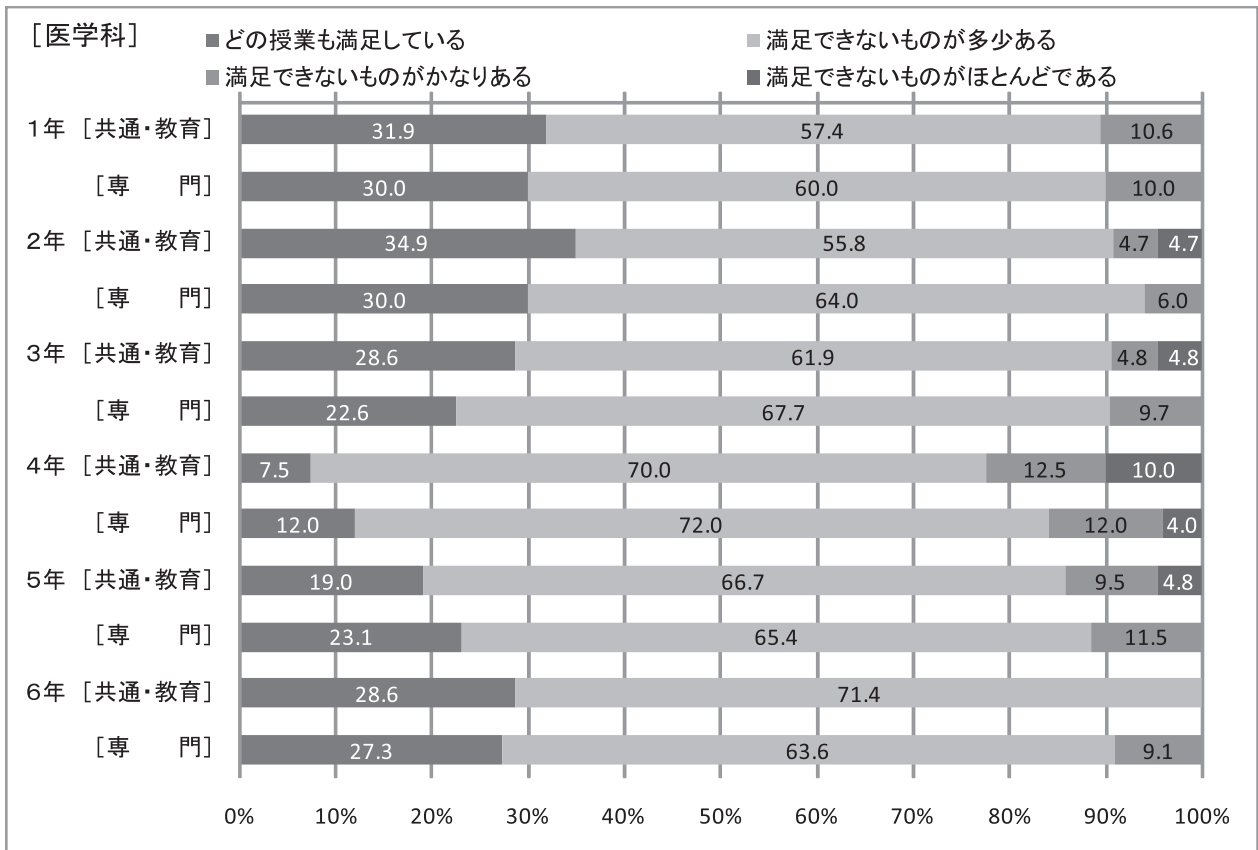


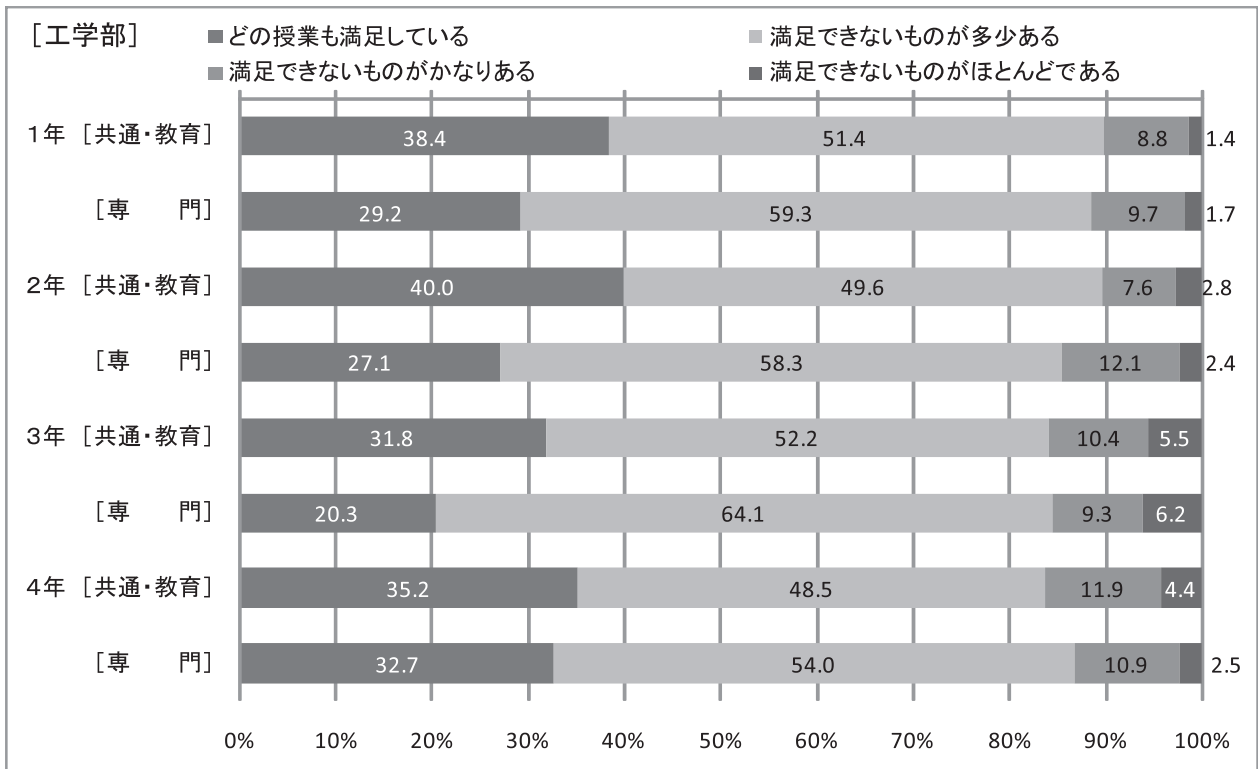
専門



G4-1 授業の満足度（学年別）







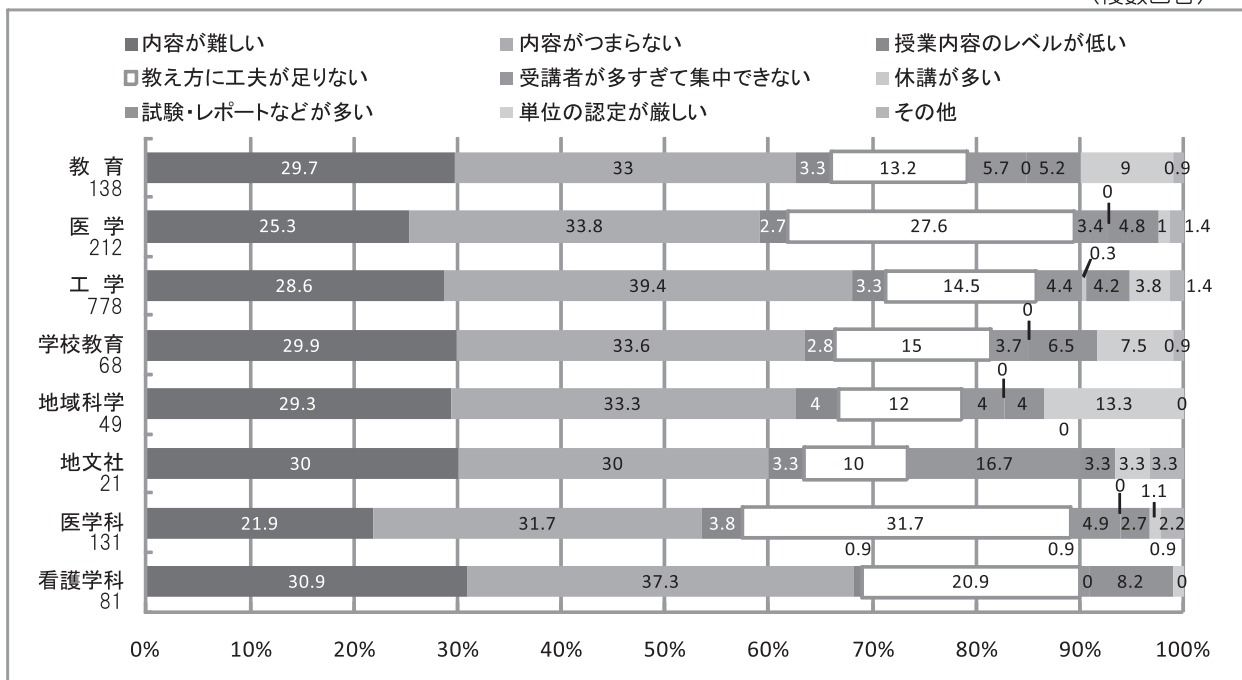
□課題

満足できない講義が共通しているなら、特定して改善が可能。授業評価アンケートなどで特定することは可能か。

G4-2 満足できない理由

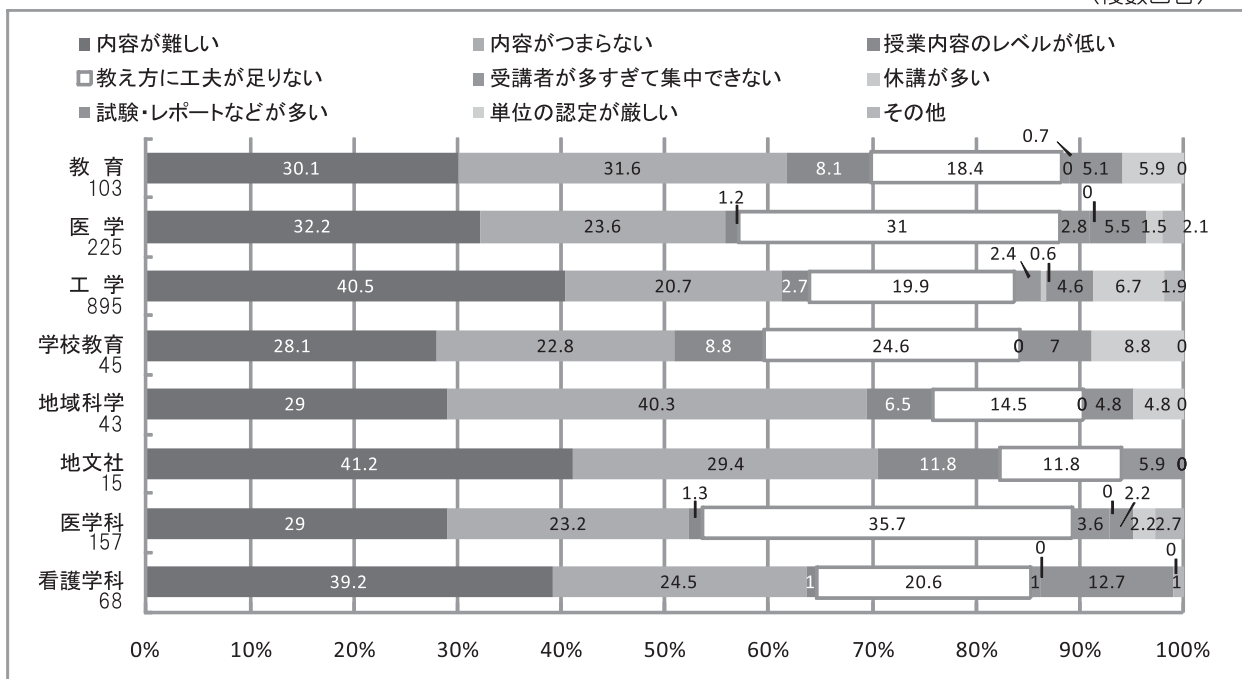
共通・教養

(複数回答)



専門

(複数回答)



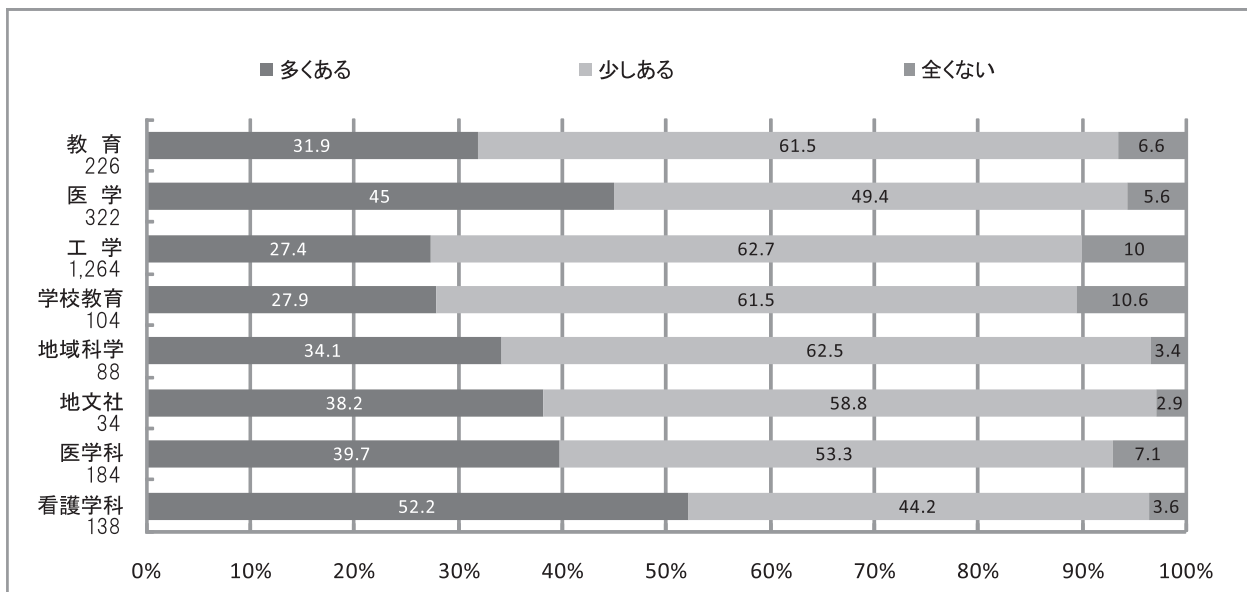
□課題

「内容が難しい」と「内容がつまらない」が同程度。達成度別クラス編成などの工夫も必要である。

G5

今まで受講した授業で、あなた自身の成長に役立った授業

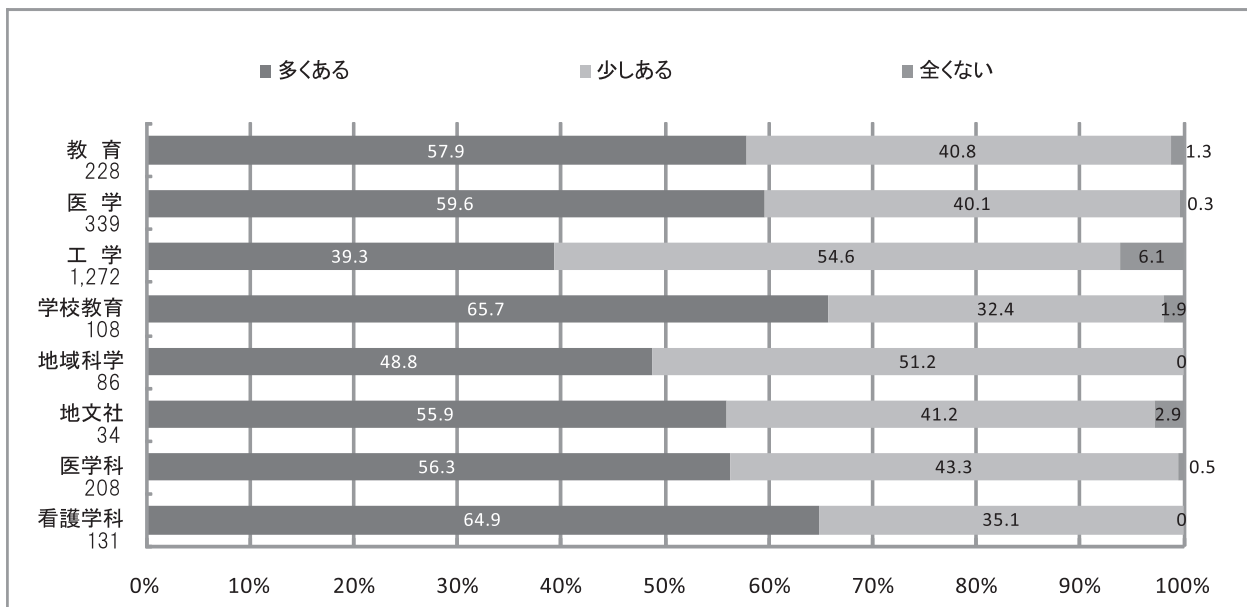
共通・教養



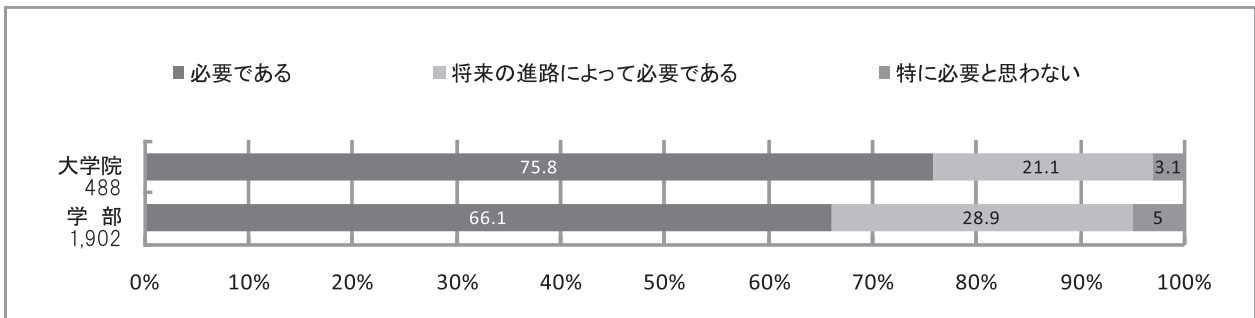
□現状

「全くない」の回答がある。共通・教養の意義・定義の不徹底も考えられる。

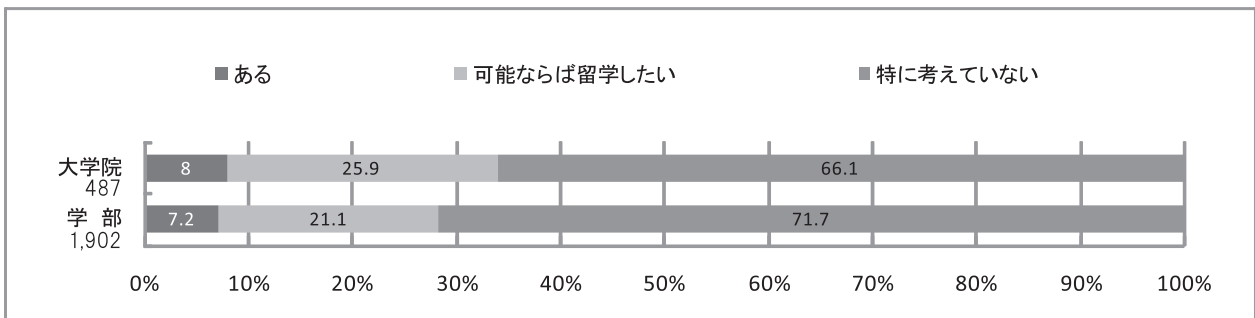
専門



G6 語学力（英語）向上の必要性

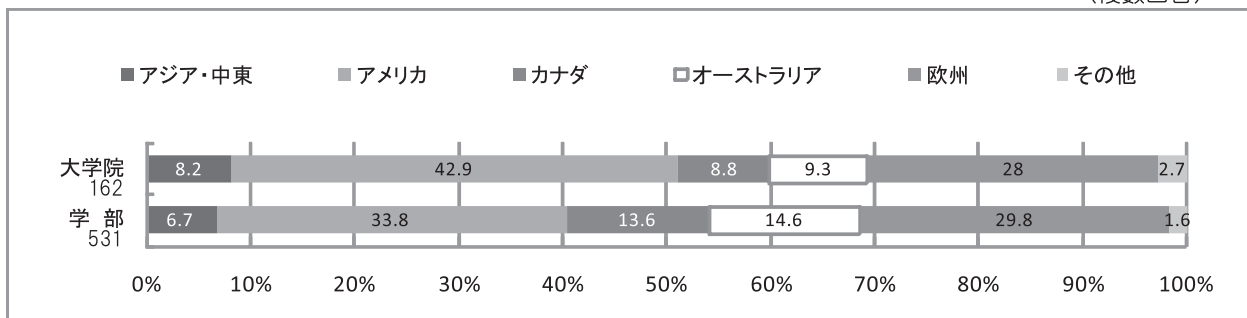


G7-1 在学中又は卒業後の海外留学（語学研修も含む）希望



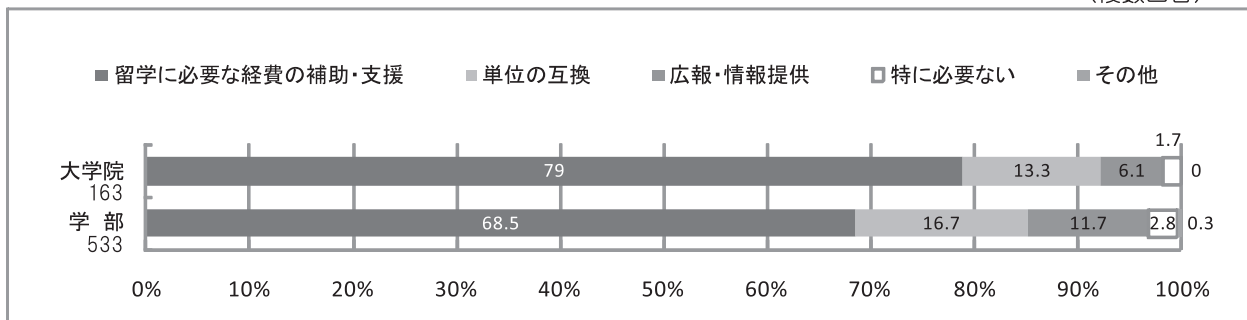
G7-2 希望する留学先

(複数回答)

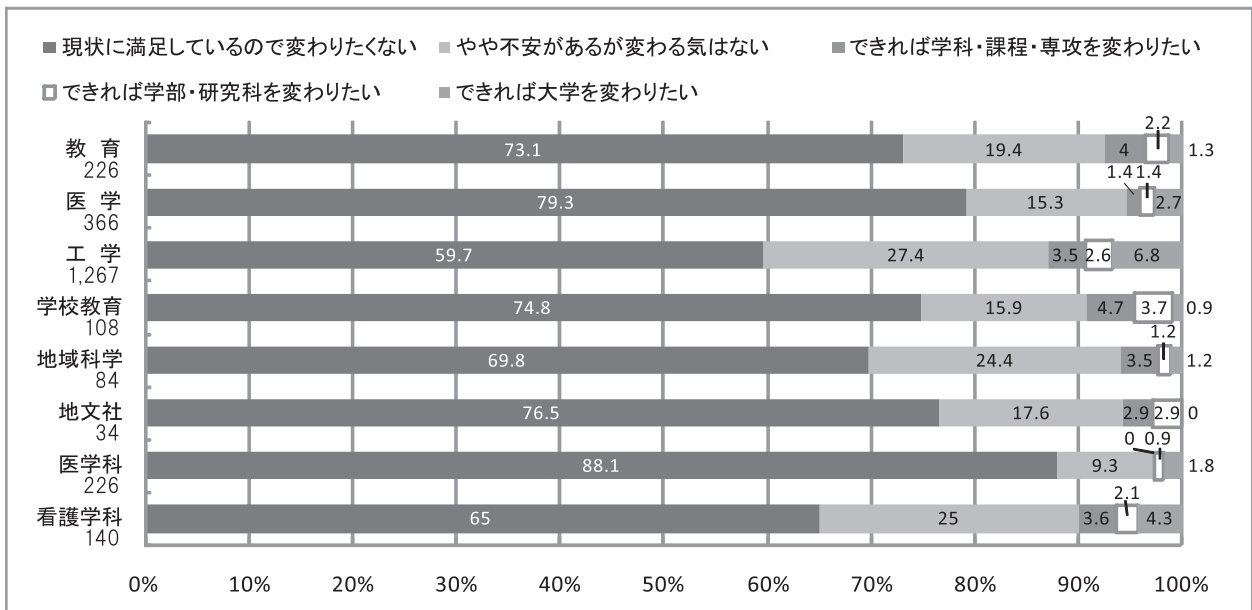


G7-3 海外留学で希望する支援

(複数回答)

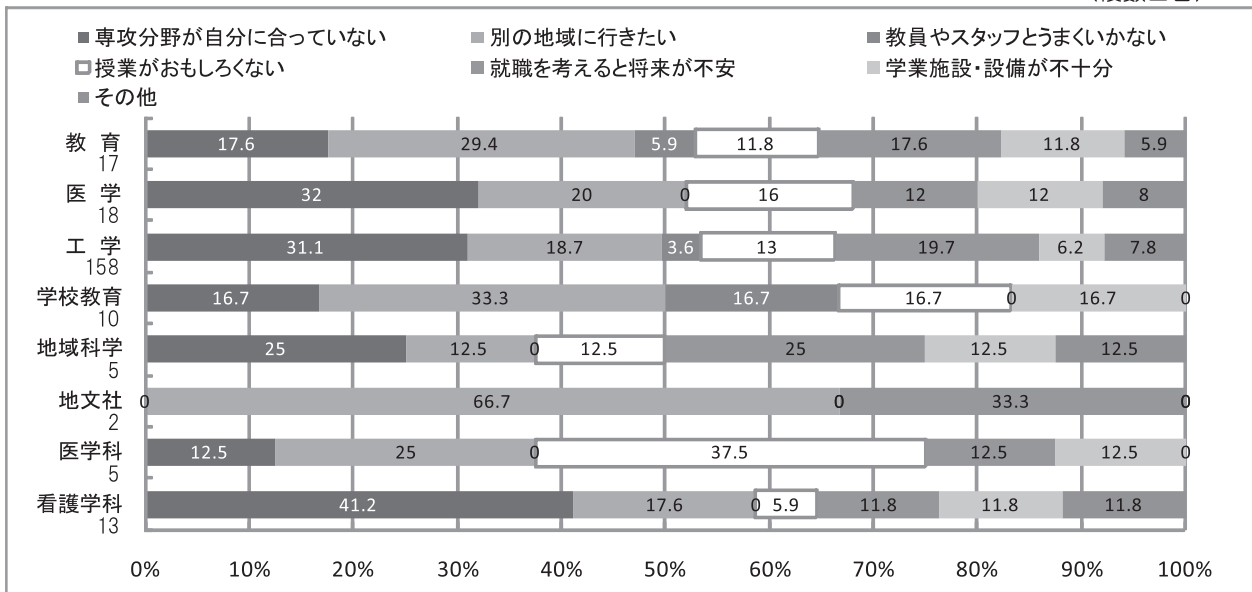


G8-1 転学部等の希望



G8-2 転学部等したい理由

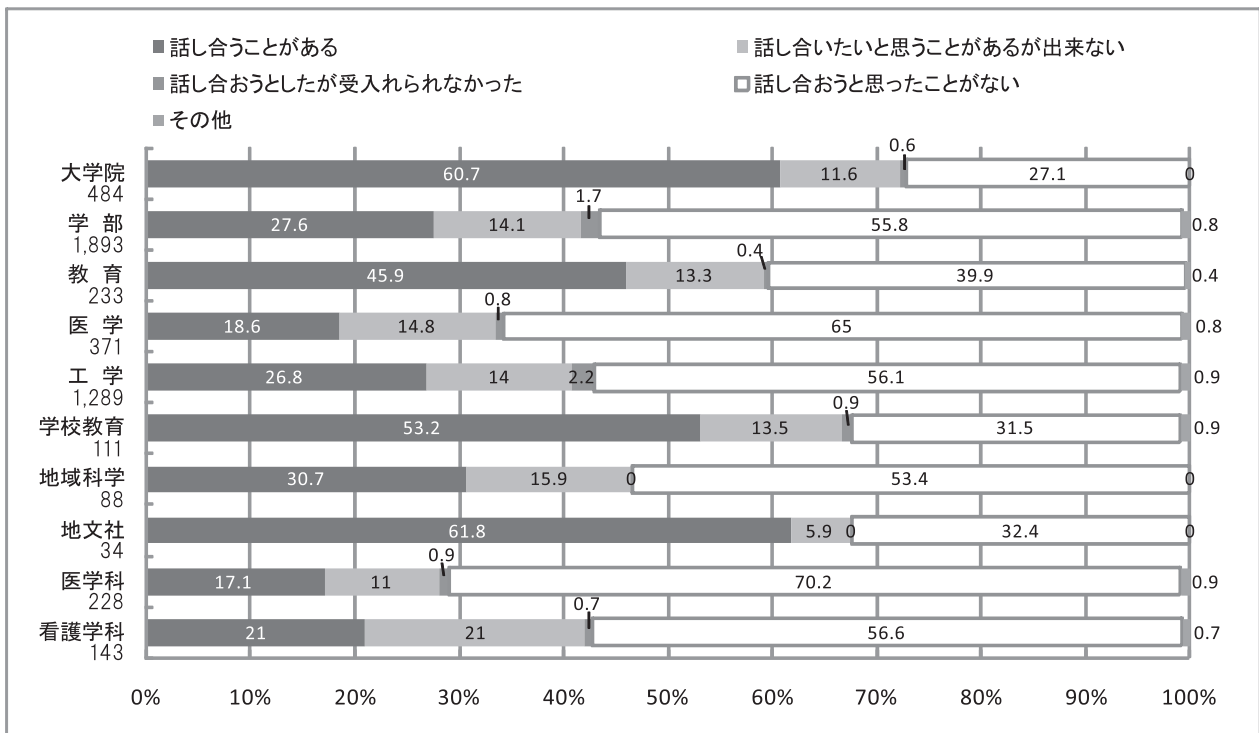
(複数回答)



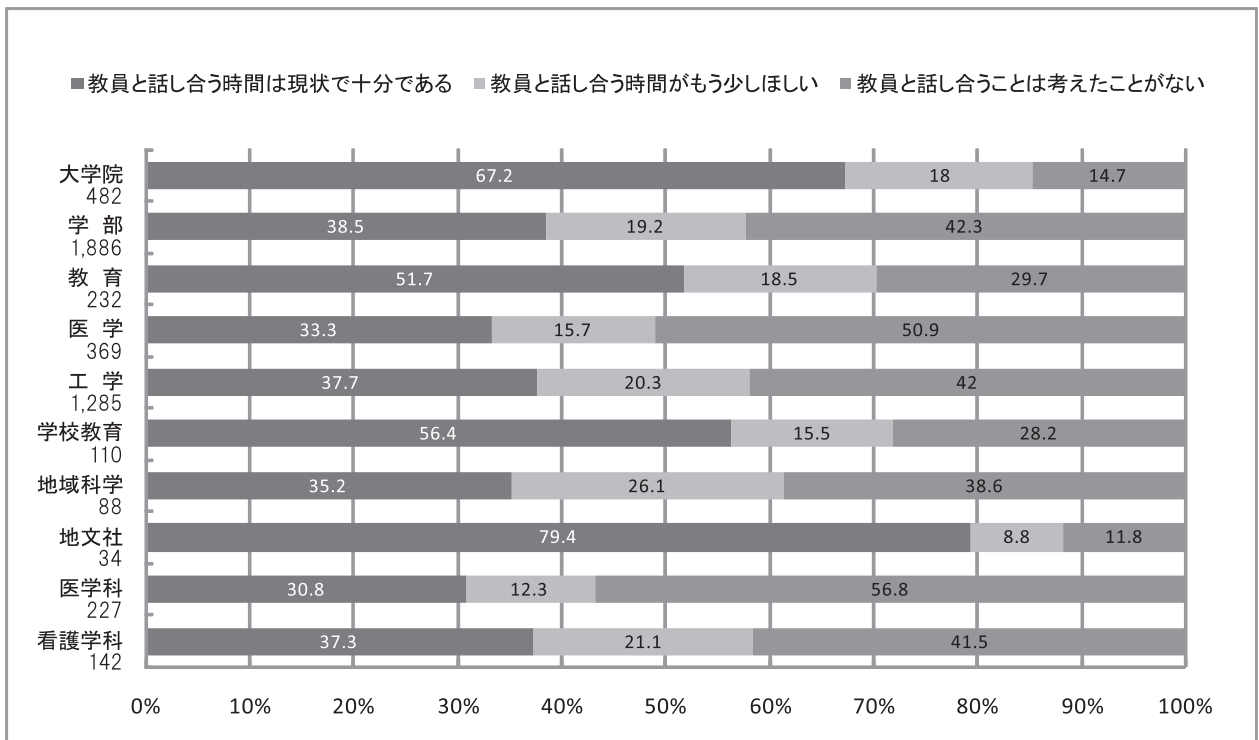
□課題

不適合の学生に対して、どのように指導するかが大きな課題である。

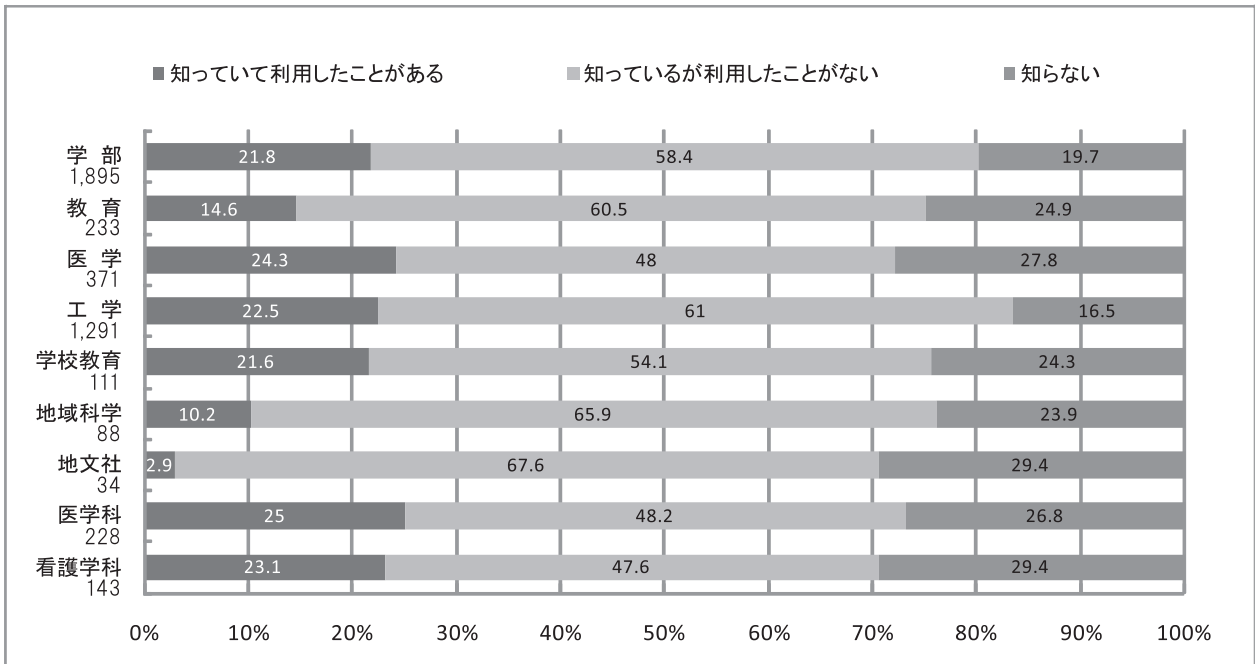
G9-1 教員との関係 授業の内容や方法について担当教員と話し合い



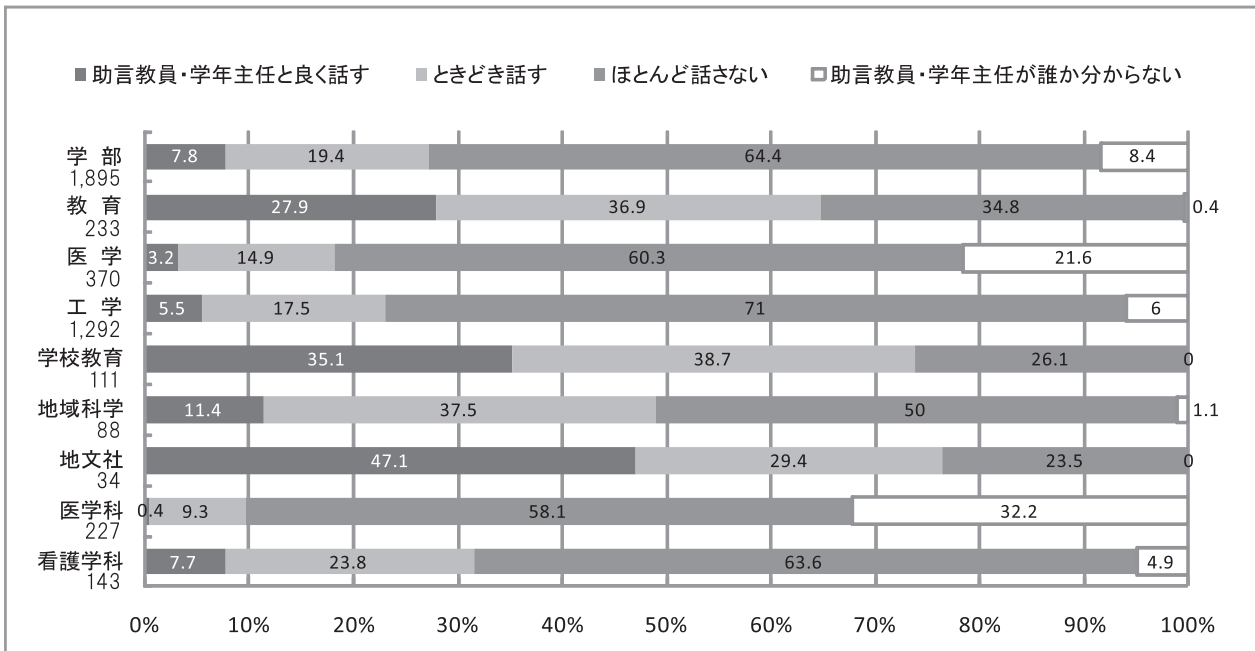
G9-2 教員との話し合う時間等について



G10 オフィスアワー制度の利用について

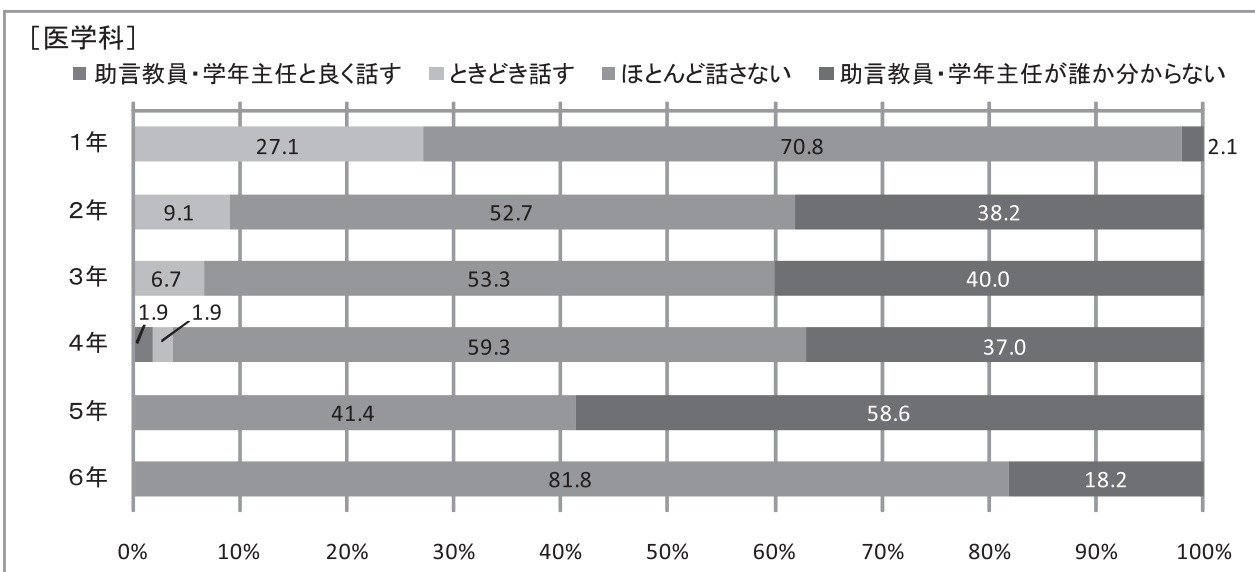
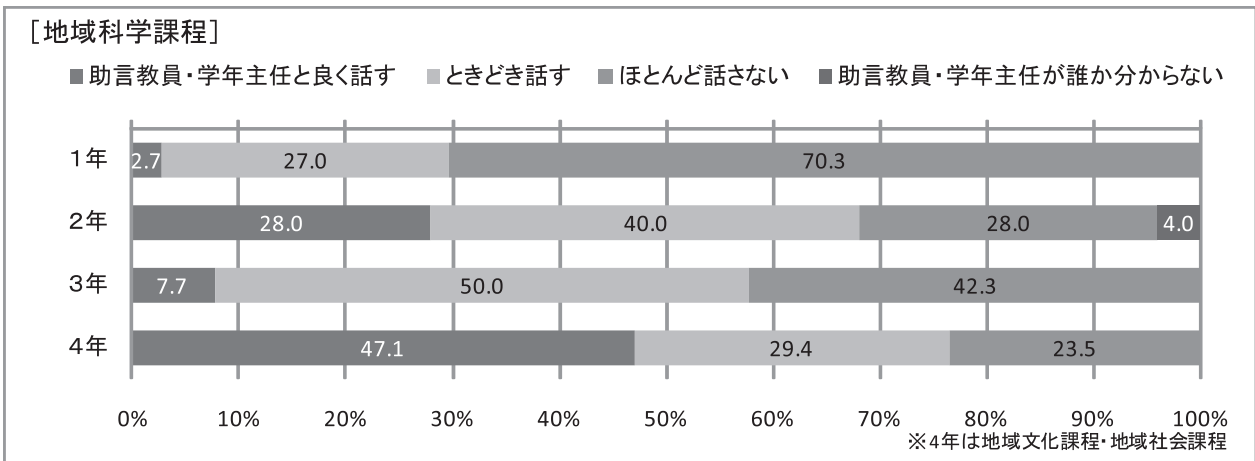
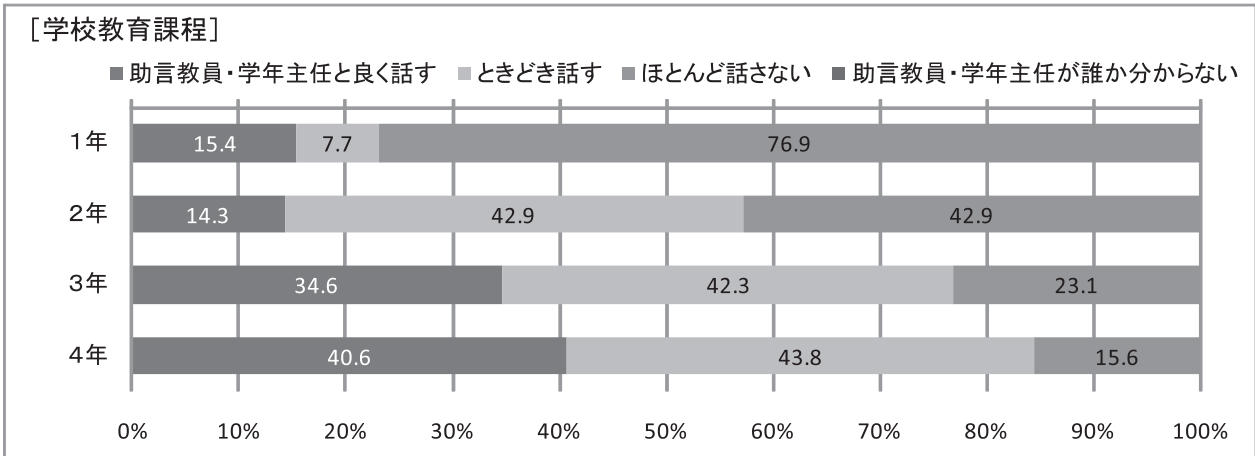


G11-1 助言教員・学生主任制度の利用について

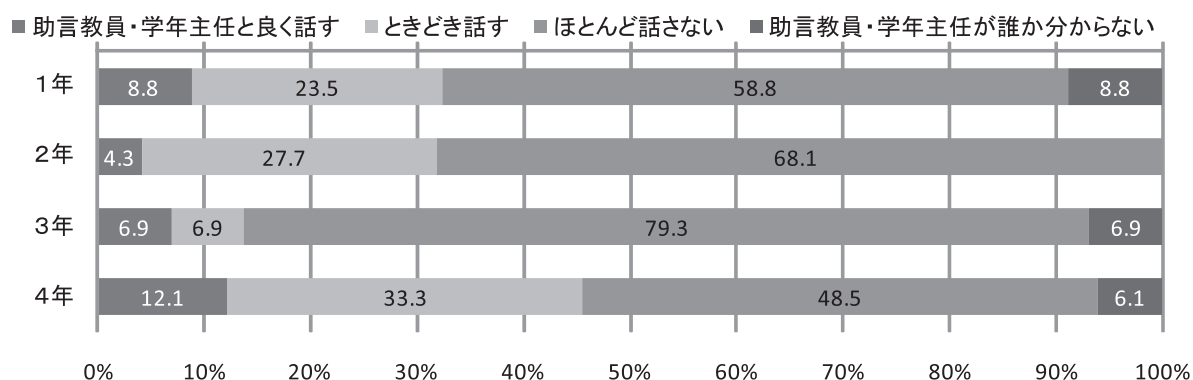


G11-1 助言教員・学生主任制度の利用について（学年別）

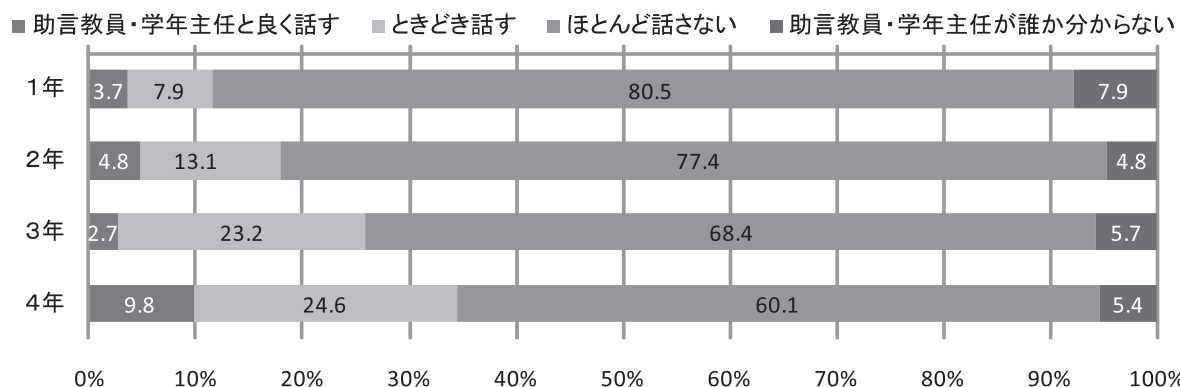
（複数回答）



[看護学科]



[工学部]



□概要

①助言教員制度の実質化など初年度のソフトランディング支援（G9-1 G11-1）

「助言教員と話をしたことが無い」などの回答があり、助言教員制度の実質化が必要である。
 助言教員や事務職員と学生との定期的な懇談会の実施
 学生（チューター）による助言教員や事務職員の補助制度など

②自習環境の充実

申し込み制による中教室の夜間利用
 スチューデントスタッフによる図書館の開館時間延長

③教員、事務職員の対応について

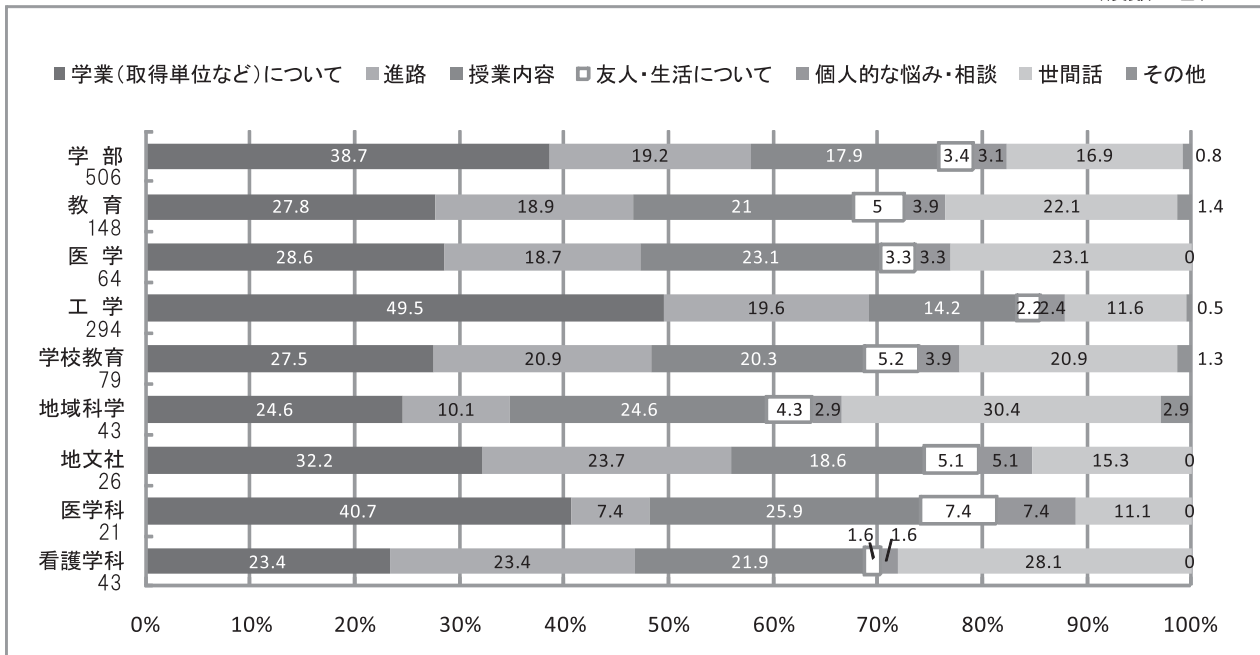
卒業等に関するスケジュールの学生への徹底
 行き先表示の義務化

④授業のあり方について

また授業の理解度と入学形態、学習時間などとの関連が改善のヒントになると考えたが、ほとんど関連は無かった。
 学習時間が少ないなど多くの問題はあるが、十分な議論を必要とするものばかりであり対応を今後議論する。

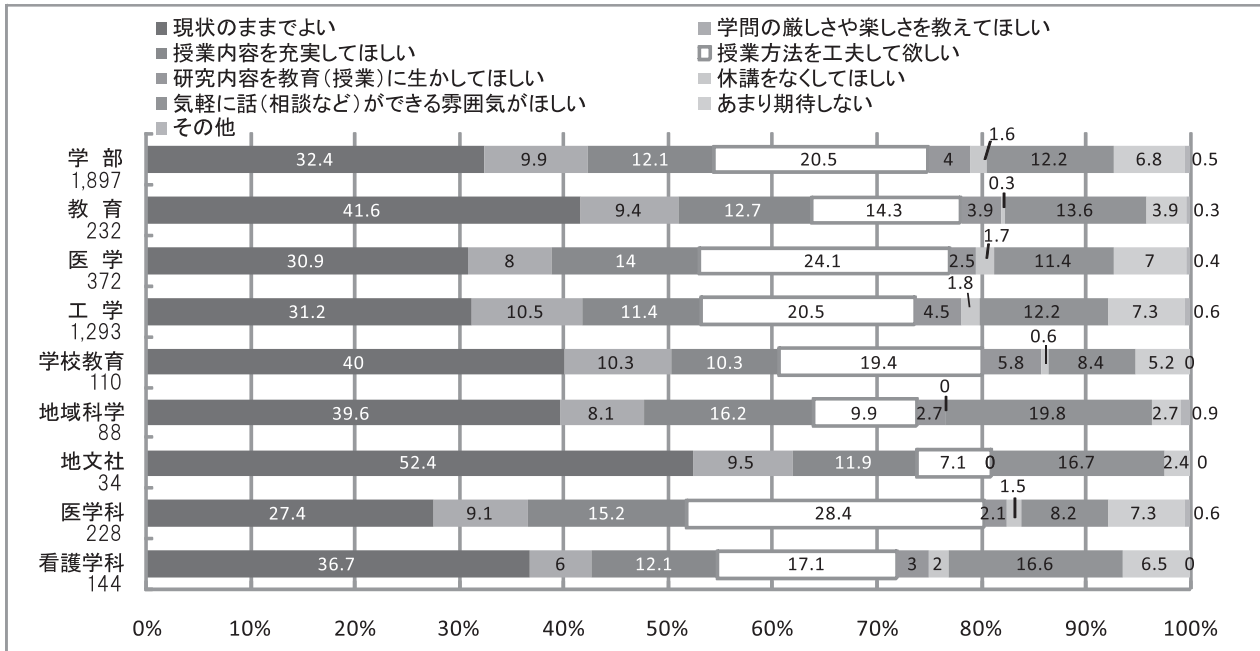
G11-2 話し合いの内容

(複数回答)



G12 教員への期待

(複数回答)



G13 就職支援室や松岡キャンパス学務室で行っている支援で知っているもの

(複数回答)

